

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 大阪府 大東市

自治体名：大阪府大東市

担当課名：指導・人権教育課

電話番号：072-870-9643

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	18.24 km <sup>2</sup>
人口	115,899 人
公立中学校数	8 校
公立中学校生徒数	2,597 人
部活動数	79 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

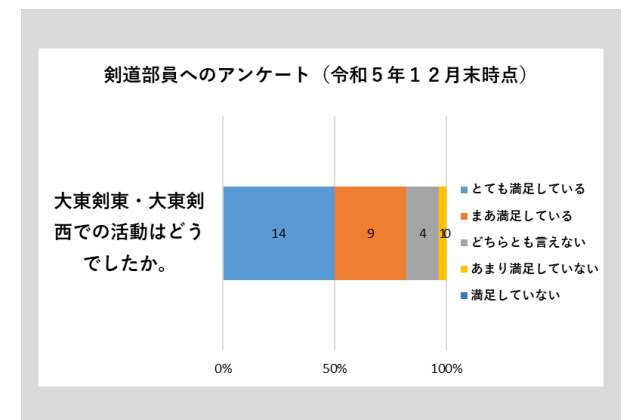
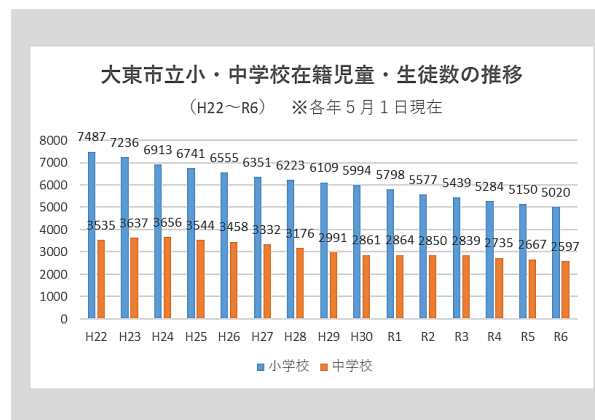
## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

平成24年頃をピークに、本市の市立中学校の在籍生徒数は減少傾向がみられ、多くの市立中学校において、部活動の統廃合について議論し、実行している。そのため、生徒にとって自分の取り組みたい部活動ができないといったケースが見られ始め、生徒のニーズに応じた持続可能な部活動実施体制の構築が急務となっている。

本市においては、令和4年度に休日における部活動地域移行について議論を始め、「部活動地域移行に関する意見交換会」を継続開催し、中学校長会や各競技種目の専門委員長や顧問会議とも連携を図ってきた。

また、地域移行に向けた実証事業の委託を受けて令和5年度より、休日における剣道部の地域移行を実施した。

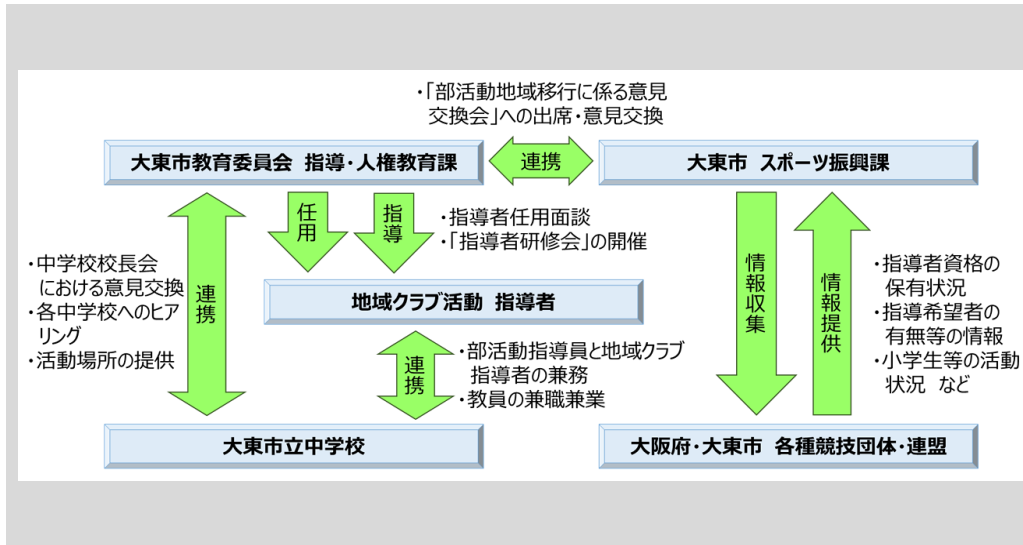
令和5年度参加生徒（剣道）へのアンケート調査では、約80%の生徒が「休日の地域移行の活動に満足している」と回答し、一定の成果をあげることができた一方、約20%の生徒については満足している状態ではないことも判明した。また、指導者の人材確保や育成、運営事務局体制の構築、移行競技種目の選定や調整、保護者への対応などについて、多くの課題が山積している。



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・地域移行の運営主体（運営事務局）
- ・市立中学校および中学校長会へのヒアリング、「部活動地域移行に関する意見交換会」の開催、指導者の確保、関係団体との連絡・調整等

##### ◎首長部局

- ・「部活動地域移行に関する意見交換会」への出席
- ・所管する市スポーツ関係団体等との連絡・調整

### 年間の事業スケジュール

令和6年4月	令和6年度部活動地域移行説明会（生徒・保護者対象） 剣道の地域クラブ活動開始 新任指導者研修会
令和6年5月	水泳の地域クラブ活動開始 バスケットボールスクール開講 指導者研修会 代表指導者会議① 部活動地域移行に関する意見交換会①
令和6年7月	部活動地域移行に関する意見交換会②
令和6年9月	部活動地域移行に関する意見交換会③
令和6年10月	代表指導者会議②
令和6年12月	部活動地域移行に係るアンケート調査 部活動地域移行に関する意見交換会④
令和7年2月	指導者会議（次年度指導予定者対象）
令和7年3月	令和7年度部活動地域移行説明会（生徒・保護者対象）

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	8校	実施した地域クラブ総数	3クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2クラブ（16部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1クラブ
全体の指導者数	24人	全体の運営スタッフ数	3人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
大東剣東 大東剣西	市町村直営型	剣道	週1回程度	9:00 ～ 12:00	1年：4人 2年：13人 3年：11人	R6.4月 ～ R7.3月	大東市立南郷小学校・深野中学校等	7人	3人 （内、兼務3人）	0円	独自チームとして中体連主催大会および競技団体主催大会等に出場
大東市水泳クラブ	市町村直営型	水泳（新）	週1回程度	16:00 ～ 18:00	1年：19人 2年：15人 3年：15人	R6.5月 ～ R7.3月	大東市立谷川中学校・ウェルネススクエア東大阪	10人	3人 （内、兼務3人）	0円	独自チームとして中体連主催大会に出場
のぎきバスケットボールスクール	市町村直営型	バスケットボール（新）	週1回程度	9:00 ～ 11:00	1年：15人 2年：9人 3年：6人	R6.5月 ～ R7.3月	大阪府立野崎高等学校	7人	3人 （内、兼務3人）	0円	大会等出場なし

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 小学生体験会の開催（剣道：令和6年12月8日（日）／水泳・バスケットボールスクール：令和6年12月15日（日）開催）

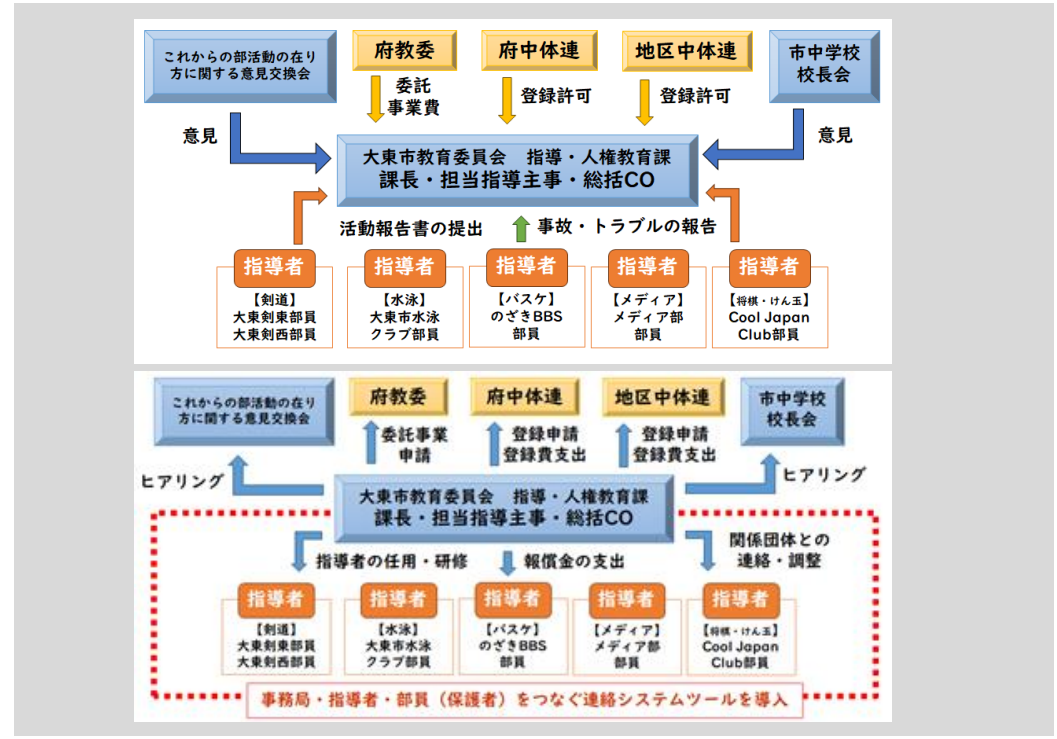
# 2.実証内容と成果

## 主な取組例

### ●大東市部活動地域移行 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	剣道、水泳、バスケットボール（スクール形式）
運営団体名	大東市教育委員会事務局 学校教育政策部 指導・人権教育課
期間と日数	●剣道：4月1日～3月31日 週1回程度 ●水泳・バスケットボールスクール ：5月1日～3月31日 週1回程度
指導者の主な属性	現職教員、部活動指導員、元学校関係者、地域人材、学生、インターネット公募など
活動場所	大東市立小・中学校、大阪府立野崎高等学校・ウェルネススクエア東大阪など
主な移動手段	徒歩、自転車、電車、保護者による送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	0円 （ただし、個人に係る登録費・交通費・物品購入費・食費等は実費負担）
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 ●生徒1人あたり：800円/年 ●指導者1人あたり：1,200円または1,850円/年

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 総括コーディネーター：活動全体を総括し、関係者・団体との連絡調整を行う。
- 代表指導者：各クラブの指導者を総括する。
- 事務担当指導者：活動報告書の作成や物品購入手続き等を担う。
- 巡回スタッフ：活動を視察し、生徒・保護者・指導者等から意見を聴取する。
- ICTスタッフ：連絡アプリのサポートや広報物の作成等にあたる。

# 2.実証内容と成果

## ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



### 取組内容

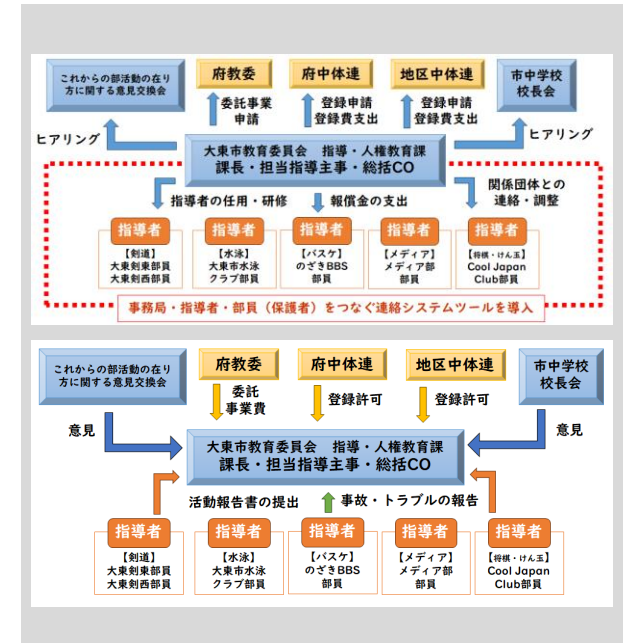
#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- 担当指導主事および総括コーディネーターを中心に運営する運営事務局にスタッフ2名（巡回スタッフ・ICTスタッフ）を増員
- 運営事務局・指導者・保護者（生徒）をつなぐ連絡アプリ「Sgrum」を導入・活用
- 「部活動地域移行に関する意見交換会」を年4回開催
- 今後の地域移行のあり方について「中学校長会」と連携

##### 取組の成果

- 総括コーディネーターを配置したことによって、関係者・関係機関との連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができた。
- 巡回スタッフおよびICTスタッフを民間企業に委託したことで、一定の専門性を有する人材による活動支援体制を構築することにつながった。また、担当指導主事・総括コーディネーターを交えたミーティングを毎週実施することで、各活動の情報共有や対応すべき事案等を確認するとともに、トラブル等の発生を未然に防止することができた。
- 総括コーディネーター主導で「部活動地域移行に関する意見交換会」を開催し、学校関係者（中学校長会長・市中体連会長等）・スポーツ推進委員会・市PTA代表等、多方面の有識者から意見聴取できた。



#### コーディネーターの具体的な動きの実績

##### 【総括コーディネーター】

- ・7.75時間/日×週3.5日を基本従事時間とし、月間平均112.8時間にわたってコーディネーター業務に従事
- ・指導者の面談・研修、施設の連絡・調整、生徒・保護者の個別対応、関係団体との折衝、各種会議・説明会の企画・運営などを実施

#### 今後の課題と対応方針

- 巡回スタッフおよびICTスタッフ業務は業務委託（独自事業）形式をとったが、業務時間が限られており、突発事象対応は困難なこともあった。また、コストがかかることから費用対効果について検証が必要である。
- コーディネーターを増員し、総括コーディネーターとともに従事時間の拡充等により、さらにきめ細やかな活動支援体制を構築する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

- 大東市教育委員会が運営するスクールアシスト制度、インターネットによる公募、近隣の大学や専門学校等を通じて、指導人材を確保
- 新任指導者への研修を実施（オンデマンド配信）
- 全指導者対象の研修を実施（年1回、集合型）
- 「指導者マニュアル」を作成し、指導にかかる共通理解事項や運営に係る事務手続きの確認等をすべての指導者が共有

##### 特に工夫した事項

○「大東市水泳クラブ」については、想定を超える生徒の入部希望があったため、指導者の増員が急務となったものの、地域のスイミングスクール等さえ人手不足で指導者を求めている状況であった。そのため、近隣大学にアプローチし、水泳部や教員養成課程に在籍する学生に対する説明会や募集・面談を実施し、指導者を確保のうえ、安定した活動を進めることができた。

令和6年度

大東市部活動地域移行  
指導者マニュアル



令和6年4月1日

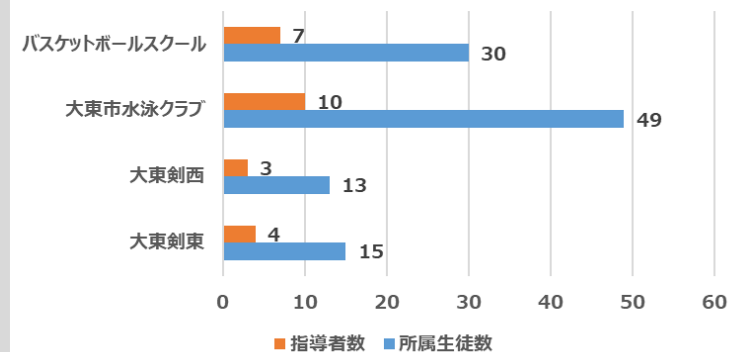
大東市教育委員会事務局  
学校教育政策部 指導・人権教育課



##### 取組の成果

- 地域へ移行した競技種目が増加したことにより、指導者確保については喫緊の課題となっていたが、近隣の大学等に指導について協力を依頼したことで、安定的な指導者確保に努めることができた。
- 今年度から新たに指導に従事する者を対象に「新任指導者研修」をオンデマンドで実施したことで、部活動地域移行の理念や国のガイドライン等について共有することができた。
- 全指導者対象の研修会においては、中学生を指導する際に大切なポイントや褒め方等について、運動部・文化部の垣根を超え、理解を深め、実際の指導に生かすことができた。

所属生徒数と指導者数（令和6年12月1日現在）



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

##### 指導者研修の内容

###### 【新任指導者研修】

- ・対象：令和6年度より新規で指導に従事する者
- ・目的：部活動地域移行の理念と部活動地域移行に関するガイドライン等について理解する。
- ・工夫点：取組目的を共有し、具体的事例をもとに体罰・ハラスメントの根絶について研修シアンガーマネジメントについて理解を深めたこと。

###### 【指導者研修】

- ・対象：令和6年度に指導に従事する者（全指導者）
- ・目的：「効果的な生徒の褒め方」について理解し、実践につなげる。
- ・工夫点：様々な競技・種目の指導者で交流することによって、様々な観点から指導方法について考えを深める仕掛けづくりを行ったこと。

##### 指導者研修の参加実績

- ・開催日：5月24日      ・開催回数：1回
- ・参加人数：運動クラブ活動指導者 11人

（※欠席者等には後日オンデマンド配信）

当日は剣道指導者5名、水泳指導者2名、バスケットボールスクール指導者4名が参加し、文化クラブ活動指導者とともに「褒め方」について総括コーディネーターが研修を実施した。

##### 受講者の声

###### 【受講者アンケート（肯定的回答割合）】

- 「研修の内容は、今後の指導に役立てられそうですか」：100%
- 「本研修を受けて、新たな気づきや発見はありましたか」：100%

###### 【受講者の感想】

- 中学生に対する褒め方について、週1回の剣道の稽古ではなかなか難しい部分もあるが、わずかな進歩であってもその成長を見つけて、褒めていきたい。
- 褒めることは、自己肯定感・自己有用感、達成感などのモチベーションに大変有効であることを改めて認識できた。
- 褒めることの重要さを改めて感じた。ただ、褒めすぎても駄目だし、ただ褒めるだけでも駄目だということを理解し、指導に当たりたい。

##### 今後の課題と対応方針

- 研修内容については総括コーディネーターを中心に企画しているが、より指導者のニーズに即した内容を提供することが必要である。指導者へのヒアリング等を通じて、研修内容を的確に定めていく。
- 本業や家事等による欠席があったことや研修後に任用した者がいたため、当日参加した運動クラブ活動指導者は全体の45.8%にとどまった。今後も、オンデマンド配信などのアフターフォローは不可欠になる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

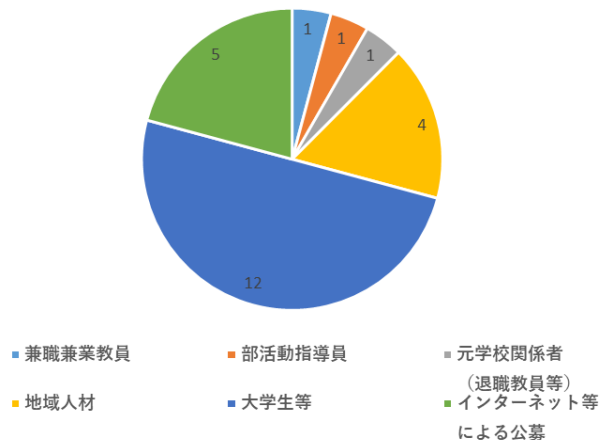
- 大東市剣道連盟との連携や大阪府剣道連盟、大阪水泳協会等を通じた情報入手
- 大阪府立緑風冠高等学校剣道部との合同練習や大阪産業大学剣道部員の指導協力
- 大阪産業大学や大阪教育大学、天理大学の学生に指導者派遣について協力を依頼

##### 取組の成果

- 大東市剣道連盟と連携し、指導体制や指導方法の工夫・改善について、助言を受け、所属生徒にとってより専門的な指導を受けられる体制を構築することができた。
- 剣道の昇段・昇級審査および道場登録等、水泳の記録エントリーシステムの運用等について、それぞれ大阪府剣道連盟、大阪水泳協会との連携を図ることができた。
- 指導者のコネクションを通じて、近隣の高等学校や大学と連携し、活動を充実させることができた。
- 近隣の体育学部系や教員養成系の大学に協力を依頼し、指導者を確保することができた。

所属指導者の属性（令和7年1月末現在）

属性	指導者数	(内訳)		
		剣道	水泳	バスケットボール
兼職兼業教員	1	1	0	0
部活動指導員	1	1	0	0
元学校関係者 (退職教員等)	1	1	0	0
地域人材	4	3	0	1
大学生等	12	0	8	4
インターネット等 による公募	5	1	2	2
総数	24	7	10	7



##### 今後の課題と対応方針

- 協力的な高等学校・大学、各種連盟が数多く存在する一方、その掘り起しやつながりをつくるコーディネータ的役割を果たす人材が十分であるとはいえない。今後は運動部専門のコーディネーターを新設するなど、事務局機能のさらなる強化が必要になる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

- 将来的にすべての運動部活動を地域へ移行するために、「中学校長会」および「大東市中学校体育連盟」との連携を強化
- 近隣他自治体との情報交換や他県教委・議会視察の積極的な受け入れによる本市取組の情報発信と他自治体の取組に関する情報の入手

##### 取組内容

- 実施するいずれの地域クラブ活動も大東市立中学校全校生徒を参加対象としていることから、「中学校長会」と綿密に連携し、取組状況や今後の方向性の共有等を行った。
- 参加生徒の状況で学校と共有すべき事案が生じた場合は、総括コーディネーターより学校管理職へ情報共有を行った。

令和6年度 部活動地域移行にかかる視察等受け入れ状況

月日	受け入れ自治体	属性	主な視察内容
5月31日	大阪府高槻市	教育委員会 首長部局	・組織体制づくりについて ・コーディネーターの役割について ・予算について ・実施内容と効果・課題について ・指導者の確保、教員の兼職兼業について
7月1日	石川県能美市	議会	・運営主体について ・各種地域クラブ活動について ・指導者の確保について ・活動場所や移動手段、連絡手段について ・費用負担について ・保護者や生徒への周知や理解促進について
10月10日	茨城県結城市	議会	・指導者の確保について ・各種地域クラブ活動について ・活動場所の確保について ・参加生徒の反応等について

##### 取組の成果

- 担当課長・担当指導主事・総括コーディネーターが適宜、「中学校長会」に出席し、取組の進捗状況の報告や意見交換を行った。市内各中学校長のほとんどが地域移行に取組について肯定的に捉えており、取組への理解促進につなげることができた。
- 各種媒体を通じて本市の取組を発信したことで、大阪府下のみならず、全国各地から視察等の問い合わせがあり、複数自治体の視察を受け入れ、本市の取組を広域的に発信することができた。

##### 今後の課題と対応方針

- 学校の実情に応じ、適宜、利害関係者と調整しながら、地域への移行・展開が可能な競技・種目から順次、休日部活動の地域移行を進める。
- 運動部における集団競技種目については、特に重点課題と位置づけ、休日部活動の地域移行に向けた取組を推進する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実①

##### 取組事項

○3種類の部活動を異なる目的で地域へ移行し、その効果を検証

○剣道部の移行については中体連主催大会等の試合出場を目的とし、小学生や高校生との合同活動を含めた地域を包括する活動の在り方を検証

○水泳部の移行については競技として取り組みたい生徒のみならず、体を動かすことを目的とする生徒も受け入れることで、多様なニーズに対応

○バスケットボールスクールは大会等の試合出場を目的とせず、学校部活動においてバスケットボール部が設置されていない学校からの参加も可能とし、個人のスキルアップを目的として実施。

##### 活動の詳細

参加人数	107人	指導者数	24人
属性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●参加者：大東市立中学校在籍生徒（中学1年～3年）</li> <li>●指導者：兼職兼業教員・部活動指導員・元学校関係者・地域人材・学生・公募等</li> </ul>		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●剣道：ウォームアップ、基本動作、基本打突、技練習、打ち込み、掛け稽古、試合等</li> <li>●水泳：ウォームアップ、メドレー、キック、プル、ビルドアップ、スイム、試合等</li> <li>●バスケットボールスクール：ウォームアップ、パス練習、1対1練習、シュート練習、ミニゲーム等</li> </ul>		
子どもの声	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎練習はとても大変だが、指導者や仲間のサポートで頑張りが続き、慣れてきた。</li> <li>●できなかった泳法を習得したり、タイムが改善したりするなど泳力向上につながっている。</li> <li>●週に1回の活動は少ないように感じるが、指導者がたくさんいて丁寧に指導してもらえる。</li> <li>●空調の整った広大な高等学校の体育館で活動できることに喜びを感じる。</li> </ul>		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各生徒が目標を持ち、その目標が達成できたときに喜びを感じている。</li> <li>●今までできない泳法が習得できるようになり、嬉しくなっている様子を見ると、指導者としてもやりがいを感じる。</li> <li>●学校に当該部活動がなかったり、当該種目を専門としない生徒も一生懸命取り組んでおり、指導に力を入れたいと思える。</li> </ul>		
運営経費	<p>【令和6年度主な予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●指導者謝金：約232万円</li> <li>●指導者旅費等：約36万円</li> <li>●保険料：約17万円</li> <li>●施設使用料：約86万円</li> <li>●消耗品費：約30万円</li> <li>●各種登録費：約11万円</li> </ul>		

大東市部活動地域移行 クラブ別所属生徒数（令和6年12月1日現在）

種別	地域クラブ活動名	中学1年生	中学2年生	中学3年生	計
運動部	大東剣東	2	5	8	15
	大東剣西	2	8	3	13
	大東市水泳クラブ	19	15	15	49
	バスケットボールスクール	15	9	6	30
計		38	37	32	107

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

### オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実②

##### 取組の成果

○参加する生徒および保護者を対象として実施したアンケート調査において、参加生徒の87%が、保護者の84%がそれぞれ「現在の活動に満足している」と回答しており、ほとんどの参加生徒および保護者にとって効果的な取組となっているといえる。

○多くの参加生徒は、新たな仲間との交流や人間関係の構築ができる機会として、地域クラブ活動を肯定的に捉えている。

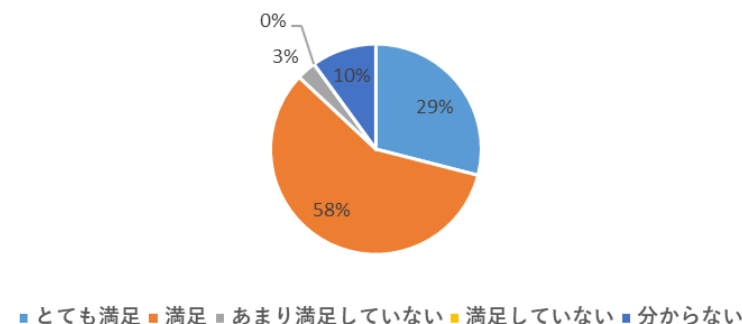
○多くの保護者からは、指導者の質や活動内容に対する満足度が高いというアンケート結果が得られた。

○とりわけ、水泳の活動については年度当初の入部者数から最終的には倍増した。試合出場のみならず、エクササイズや初心者が泳げるようになることをめざすなど、さまざまな選択肢を用意したことが一定のニーズの掘り起こしにつながった。

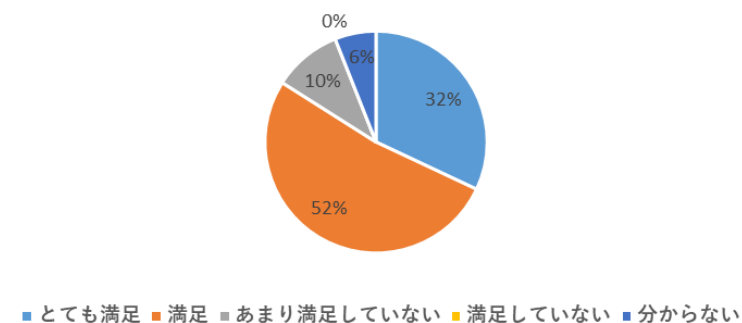
##### 今後の課題と対応方針

○市立中学校長を対象としたアンケートにおいても75%の学校から取組に満足しているという回答が得られたものの、設置部活動数が少ない競技種目を地域移行として取り組んでいることから、教員の働き方改革に大きな効果があるとは言い切れないのが現状である。今後、設置部活動数の多い競技種目の地域移行にも取り組めるよう利害関係者との調整にあたりたい。

#### あなたは現在の活動に満足していますか？ (生徒対象)



#### 現在の活動に満足していますか？ (保護者対象)



# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

#### 取組事項

- 公的資金等の自主財源をベースに運営し、受益者負担額なしで実施することで、経済的困窮世帯を含むすべての世帯に対する包括的な支援を実施
- 物品の寄贈やネーミングライツ制度等の導入による地域の民間企業との連携を推進

#### 地域クラブに係る経費

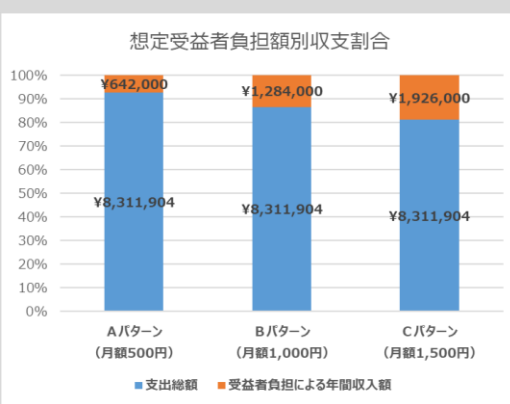
##### ■イニシャルコストの分析

- ・事務局機能委託費（1,848千円）
- ・事務局備品（300千円）

##### ■ランニングコストの分析

- ・総括コーディネーター謝金（2,285千円）
- ・指導者謝金（2,320千円）
- ・総括コーディネーター交通費（70千円）
- ・指導者交通費（361千円）
- ・消耗品費（350千円）
- ・保険料（159千円）
- ・施設使用料（860千円）
- ・連盟等登録費（111千円）

#### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算



○参加生徒の保護者を対象とするアンケートにおいて、「受益者負担額として妥当だと思う金額」について質問し、最も回答の多かった価格帯の中から「月額500円」、「月額1,000円」、「月額1,500円」の3パターンで試算

#### 収支バランス



○収入については「委託事業費」と「市単費」で全額を賄っている  
 ○支出については「活動費」が最も大きな割合を占めており、次いで「運営費」・「再委託費」となっている

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

#### 取組の成果

##### 【基本情報】

①支出総額	¥8,311,904	②所属生徒総数(人)	107
-------	------------	------------	-----

##### 【想定受益者負担額別年間収入額】

パターン	③想定受益者負担月額	④月数	⑤1人あたり年間受益者負担額(③×④)	⑥受益者負担による年間収入額(②×⑤)	⑦支出総額に占める受益者負担による年間収入額(⑥/①)	⑧公費負担額(①-⑥)	⑨公費負担割合(⑧/①)
A	¥500	12	¥6,000	¥642,000	7.7%	¥7,669,904	92.3%
B	¥1,000	12	¥12,000	¥1,284,000	15.4%	¥7,027,904	84.6%
C	¥1,500	12	¥18,000	¥1,926,000	23.2%	¥6,385,904	76.8%

○受益者負担額0円にて実施しているのが現状ではあるが、上記3パターンでの試算を実施した。これまで学校部活動において受益者負担を求めていなかったものの、支出総額が年々増大する傾向にあることから、一定の妥当性を担保した受益者負担額の在り方を模索する必要がある。

○支出総額を所属生徒総数で割ると77,681円/人の経費を要していることから、Cパターン(年間18,000円)であれば、およそ4分の1の経費を保護者に求めることが可能となる。

○ネーミングライツ制度導入に向けた制度設計等を検討するとともに、物品の寄贈については地元企業からピブスを寄贈いただくなど、公費負担以外において物品調達が可能となることについて先行事例を生み出すことができた。

#### 今後の課題と対応方針

○適正な受益者負担の在り方については継続協議する必要がある。また、価格設定の検討だけでなく、利用する生徒数の拡大に取り組むことで、収入の増加が見込めることから、生徒のニーズに合った魅力的な活動を展開していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③

##### 資料

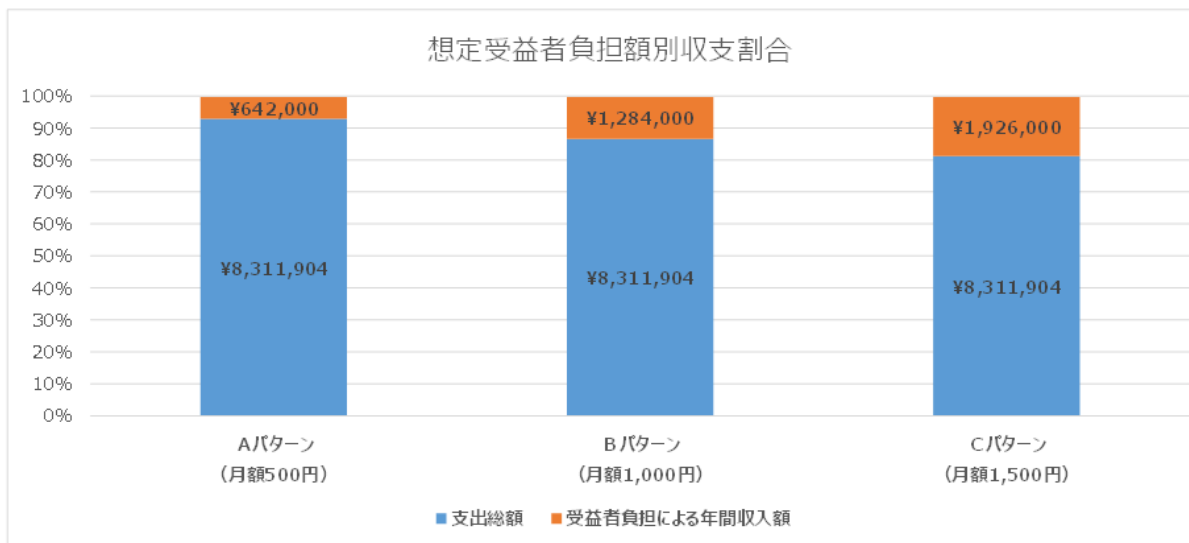
##### 【基本情報】

①支出総額	¥8,311,904	②所属生徒総数(人)	107
-------	------------	------------	-----

##### 【想定受益者負担額別年間収入額】

パターン	③想定受益者負担月額	④月数	⑤1人あたり年間受益者負担額(③×④)	⑥受益者負担による年間収入額(②×⑤)	⑦支出総額に占める受益者負担による年間収入額(⑥/①)	⑧公費負担額(①-⑥)	⑨公費負担割合(⑧/①)
A	¥500	12	¥6,000	¥642,000	7.7%	¥7,669,904	92.3%
B	¥1,000	12	¥12,000	¥1,284,000	15.4%	¥7,027,904	84.6%
C	¥1,500	12	¥18,000	¥1,926,000	23.2%	¥6,385,904	76.8%

想定受益者負担額別収支割合



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

○市立中学校の施設を利活用し、地域クラブ活動を実施していく上での仕組み・ルールを策定

○バスケットボールスクールについては、市内にある府立高等学校施設を拝借して活動することから、当該高等学校と運営事務局、事務局機能委託業者等の関係者間で連絡・調整し、効率的な管理システムを構築

##### 取組の成果

○教育委員会内において、市立学校の利用にあたって、一定の仕組み・ルールを整備することができた。

○市立学校以外の学校施設についても拝借しながら活動を進めるとともに、総括コーディネーターが中心となって、関係各所との連絡・調整にあたった。

○水泳については民間施設を利用することで、一年を通じて泳げる環境を整備できた。

大東市部活動地域移行 利用活動場所別のべ活動回数（令和7年1月末現在）

種別	地域クラブ活動名	大東市立学校施設	大東市立学校以外の学校施設	公共施設	民間施設	計
運動部	大東剣東	34	0	14	0	48
	大東剣西	30	0	15	0	45
	大東市水泳クラブ	0	5	6	36	47
	バスケットボールスクール	0	30	0	0	30
計		64	35	35	36	170

##### 今後の課題と対応方針

○大東市立学校以外の施設を利用する場合、その持続可能性が問われることになる。例えば、民間施設等は改修工事やメンテナンス、移転・廃業などでこれまで利用できた施設が利用できなくなることも想定される。会場提供者とのさらなる綿密な連絡・調整が必要になり、コーディネーターの増員などでこのような課題に対応する体制を構築していく。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
**ク：その他の取組**



## 取組内容

### ●取組項目名 ク：その他の取組

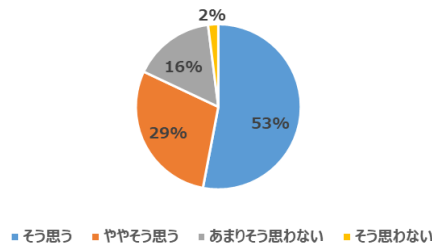
#### 取組事項

○休日の運動部活動の地域移行の推進および将来的に実施することを想定している平日の運動部活動の地域移行に向け、総括コーディネーターおよび運営事務局ICTスタッフを中心に、令和6年度の取組に関する情報の発信、広報活動を実施

#### 取組の成果

- 運営事務局において「地域部活動だより」を毎月発行し、市立小・中学校に送付し、掲示を依頼することで、市立小・中学校の児童・生徒・保護者に取組の内容等を周知することができ、理解促進につながった。
- 連絡ツールアプリ「Sgrum」を通じて、地域クラブ活動に所属する保護者等に対して取組の内容や試合結果等を運営事務局や指導者から発信・情報提供できた。

運営事務局からの情報提供は十分に行われていますか。(保護者対象アンケート)



### 今後の課題と対応方針

○連絡ツールアプリ「Sgrum」については、すべての関係者が円滑に利用できている状況にないことから、利用に関するフォロー体制を構築・周知するとともに、デジタルツールの利用促進を進めたい。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

剣道・水泳・バスケットボールスクールの3つの地域クラブ活動について、毎週コンスタントに活動を実施することができた。これは、指導者を安定的に確保でき、かつ、指導者が所属生徒のことを理解しながら活動を進められた結果であるといえる。

「大会出場を目的とする剣道」、「大会出場とレクリエーションを兼備する水泳」、「レクリエーションや個人のスキルアップを目的とするバスケットボールスクール」という三クラブ三様の取組がそれぞれ生徒のニーズに合致した。

**特に、水泳については最多の所属生徒数を誇り、大会に出場することを目的としないが、体力づくりや仲間づくり、居場所づくりの一環として利用する生徒も一定数存在することが明らかになった。**

事務局機能の充実と安定化を図るべく、一部業務を外部に委託するといった取組を実施した。マンパワーを充実させたことで、生徒・保護者の意見聴取や広報活動などにおいて、一定の効果があつたものの、費用対効果や事務局業務の効率化につながったとまでは言い切れず、今後に向けて課題が残った。

#### ●成果の評価

所属生徒や保護者、学校関係者を対象とするアンケート結果において、いずれも設定していた達成目標を上回る結果が得られた。

**所属生徒が地域クラブ活動に求めているものとして最も多かった意見が、「自分のやりたいことが楽しくできること」、「体力や技術を向上できること」、「新しい仲間との交流や人間関係が構築できること」であった。所属生徒それぞれのニーズに応じて「三クラブ三様」の取組を展開したことが、所属生徒の興味を追求できる楽しい環境づくりにつながったものといえる。**

また、**子どもが楽しく活動に参加していることが、保護者の高い満足度にもつながっている**と考える。

保護者の意見から、指導者の質の高い指導や充実した活動内容についても多数の肯定的な意見を得ることができた。指導者研修会等の実施や指導者間の連携が円滑に行われたことが、このような成果につながったものと認識している。

#### ●今後に向けて

学校部活動を地域へ移行するにあたっては、「生徒が求めている多様なニーズ」に合致する方法を検討すべきであるということを念頭に置いておく必要がある。

また、現在実施されている学校部活動においてもこの考え方は有効であり、顧問教員等すべての指導者にこの考え方を共有していく必要がある。

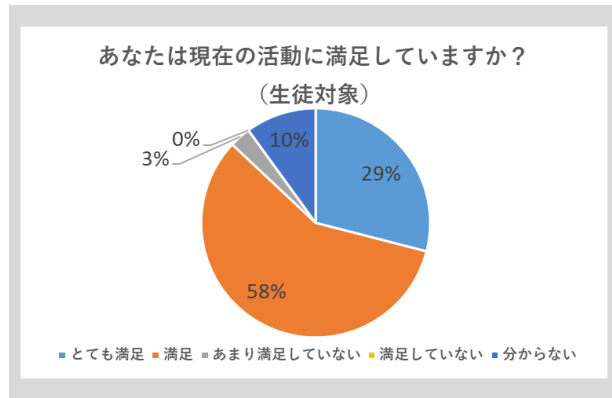
事務局機能の一部業務委託については、再検討し、コーディネーターの増員による自走式の運営体制の構築を含めて、事務局機能の在り方を再構築する。

また、受益者負担を含めた収支構造については引き続き協議する。

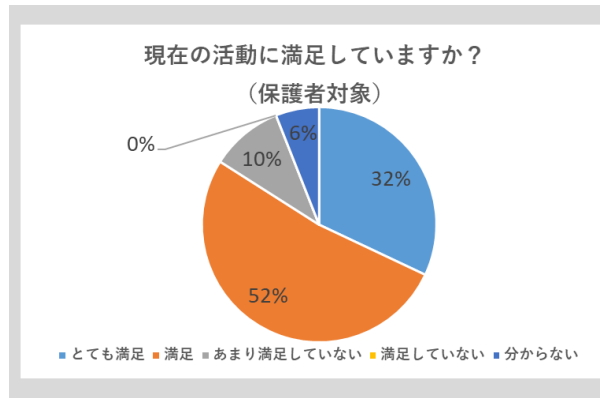
## アンケート結果・参加者の声

### ●アンケート結果

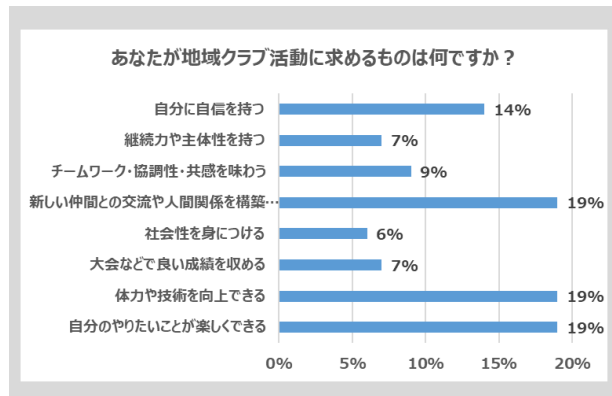
Q.あなたは現在の活動に満足していますか？  
(所属生徒対象)



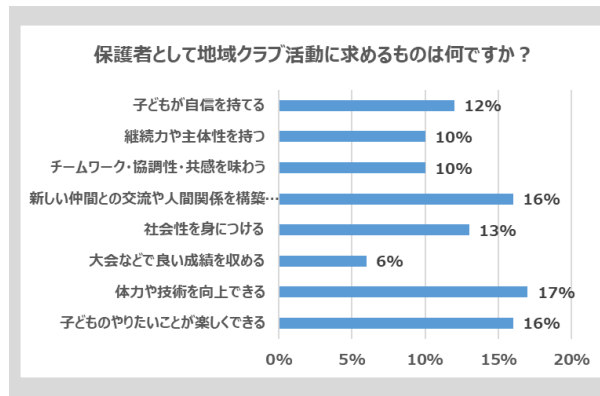
Q.保護者として、現在の活動に満足していますか？(保護者対象)



Q.所属生徒として、地域クラブ活動に求めるものは何ですか？



Q.保護者として、地域クラブ活動に求めるものは何ですか？



### ●参加者の声

#### 中学3年生（バスケットボールスクール）

自分のやりたかった活動ができて嬉しい。指導者が見本を見せてくれたり、一つひとつの動きに指示やアドバイスをくれるので、上達しているように感じる。

#### 中学1年生（剣道）

剣道の防具を付けて動くのはなかなか難しいが、防具の付け方も慣れてきた。声も出せるようになってきて、様々な仲間と稽古ができるのはとてもよい経験になっている。

#### 指導者（水泳）

最初はどのように中学生に対して声を掛けたり、接したりするのがよいのか不安であったが、活動を重ねるごとに要領をつかめるようになり、研修で学んだことを活かせるようになった。

#### 指導者（バスケットボールスクール）

大会等には出場していないが、練習試合やミニゲームの中で個別練習で取り組んできた成果を試せるように仕掛けている。指導者間で連携しながら取組を進めることができている。

## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果・広報資料

○大東市立中学校全校生徒に地域クラブ活動として実施予定の活動を周知するため、パンフレットを作成・配付

○年間複数回にわたって、市広報誌を通じて取組を紹介するとともに、テレビや新聞などの媒体を通じて、市内外に取組の内容を発信



**令和6年度  
大東市立中学校  
休日部活動地域移行**

みんな一緒に活動しましょう！

**お知らせ**

- QRコードから入部届をダウンロードして、ご提出ください。
- 連絡アプリや活動場所への移動方法など、詳細はお電話でお答えいたします。

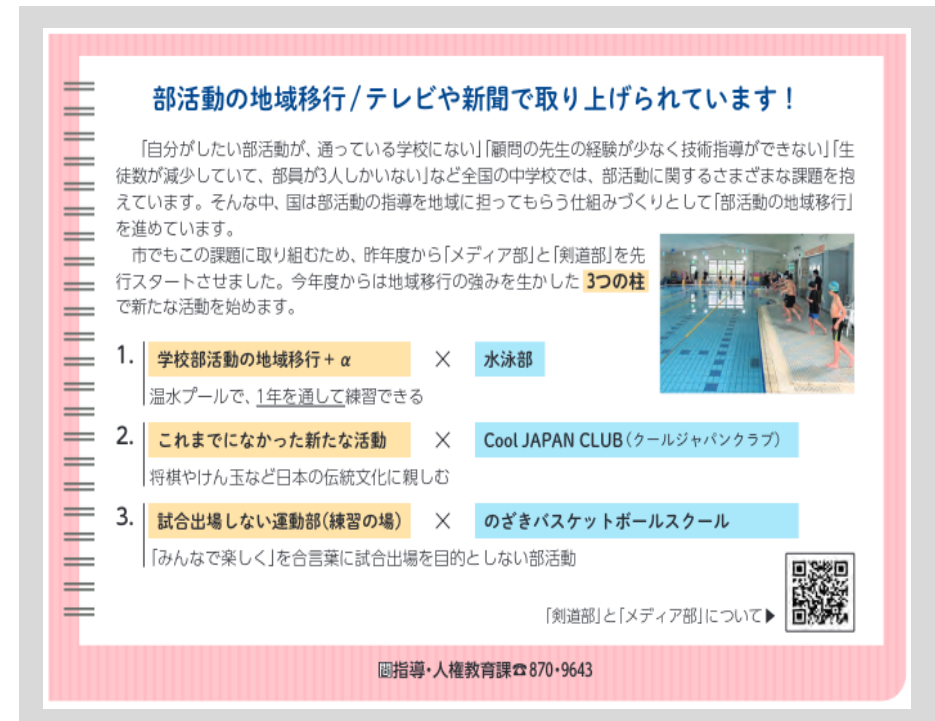
4月13日(土)10:00~  
保護者・生徒向け説明会実施  
◎参加希望の方は、お電話を

大東市教育委員会事務局  
指導・人権教育課 担当：北西  
**072-870-9643**  
k\_sidoujinken@city.daito.lg.jp

申込みQRコード

【生徒への参加啓発パンフレット（表紙）】

出典:大東市部活動地域移行運営事務局作成



**部活動の地域移行/テレビや新聞で取り上げられています！**

「自分がしたい部活動が、通っている学校にない」「顧問の先生の経験が少なく技術指導ができない」「生徒数が減少していて、部員が3人しかいない」など全国の中学校では、部活動に関するさまざまな課題を抱えています。そんな中、国は部活動の指導を地域に担ってもらおう仕組みづくりとして「部活動の地域移行」を進めています。

市でもこの課題に取り組むため、昨年度から「メディア部」と「剣道部」を先行スタートさせました。今年度からは地域移行の強みを生かした **3つの柱** で新たな活動を始めます。

1. **学校部活動の地域移行+α** × **水泳部**  
温水プールで、1年を通して練習できる
2. **これまでになかった新たな活動** × **Cool JAPAN CLUB(クールジャパンクラブ)**  
将棋やけん玉など日本の伝統文化に親しむ
3. **試合出場しない運動部(練習の場)** × **のざきバスケットボールスクール**  
「みんなで楽しく」を合言葉に試合出場を目的としない部活動

「剣道部」と「メディア部」について▶

図指導・人権教育課 ☎ 870・9643

【大東市広報誌】

出典:広報「だいたう」(令和6年7月号)

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【剣道における基本動作練習（素振り）の様子】



【水泳におけるウォームアップの様子】



【バスケットボールスクールにおけるミーティングの様子】



【バスケットボールスクールにおけるシュート練習の様子】

## 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

これからの部活動のあり方に関する意見交換会の開催

中学校長会への説明、教員アンケートの実施、学校ヒアリング

令和5年

剣道の地域移行開始（休日）

水泳・バスケットボール顧問教員へのヒアリング  
中学校長会へのヒアリング

令和6年

水泳の地域移行開始、バスケットボールスクール開講（休日）

### 【これからの部活動のあり方に関する意見交換会】

#### ●ステークホルダー

市中学校長会長、市中体連会長及び事務局長、市PTA協議会代表、市スポーツ推進委員代表、市スポーツ振興課、市教育委員会担当課（総括コーディネーター含む）

#### ●経過

取組の進捗状況の確認や今後の方向性について協議

#### ●実施にあたって生じた課題

様々な観点で議論が行われ、合意形成に時間を要した。

#### ●実施内容、工夫した点等

次年度予算編成時期より前に会議を集中して実施した。

### 【市立中学校との連携】

#### ●ステークホルダー

市立中学校長、市立中学校顧問教員、市教育委員会担当課長および担当指導主事、総括コーディネーター

#### ●経過

市中学校長会に随時出席し、取組の経過や今後の方向性等について共有・意見聴取

#### ●実施にあたって生じた課題

学校によって部活動の事情が異なっており、議論をまとめることが困難であった。

#### ●実施内容、工夫した点等

個別に学校を訪問し、各中学校長より意見を丁寧に聴取するようにした。

### 【生徒・保護者への説明】

#### ●ステークホルダー

当該学校部活動に所属する生徒および保護者、当該地域クラブ活動指導者（代表）、市教育委員会担当課

#### ●経過

現役生徒とその保護者を対象に説明会を開催し、その後新規入部希望者を対象とする説明会を開催

#### ●実施にあたって生じた課題

説明会の開催について、学校を通じて周知する必要があったため、チラシ配付等を学校に依頼せざるを得なかった。

#### ●実施内容、工夫した点等

中体連登録や試合出場方法についても説明し、合意形成を図った。

# 3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国	改革推進期間（令和5年度～7年度）			【中間とりまとめ】改革実行期間・前期（令和8年度～10年度）		
大東市全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の委託事業（運動・文化）</li> </ul> モデル実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の委託事業（運動・文化）</li> </ul> 実施・検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の委託事業（希望予定）</li> </ul>	※学校の実情に応じ、適宜、利害関係者と調整しながら、地域への移行・展開が可能な競技・種目から順次、休日部活動の地域移行を進める。 ※運動部における集団競技種目の地域移行については、重点課題と位置づけ、取組みを推進する。		
運動部動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>剣道部の移行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水泳部の移行</li> <li>バスケットボールスクールの新設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相撲部の移行（予定）</li> <li>平日活動の移行モデル実施</li> </ul>			
事務局機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>総括COの配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営事務局の一部業務委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO増員による事務局機能強化</li> </ul>	運営主体設立準備		
市教委主導による運営						

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 大阪府 箕面市

自治体名：大阪府箕面市

担当課名：児童生徒指導室

電話番号：072-724-6752

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	48 km <sup>2</sup>
人口	136,195 人
公立中学校数	8 校
公立中学校生徒数	4,071 人
部活動数	127 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	作成中

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

市内中学校の学校部活動においては、サッカー部や野球部、ソフトボール部などでチームを組むことができない状況が見られる。現在の小学生の数を鑑みると、今後生徒数が年々減少することが想定される。

所属校に希望する部活動がないため、選択できない生徒がいる。新しい部活動を立ち上げたいという希望があっても、働き方改革の流れもあり新規部活動を創部することが難しい。

各学校では部活動の時間を短く設定する流れになっている（原則教職員の勤務時間内に実施）。

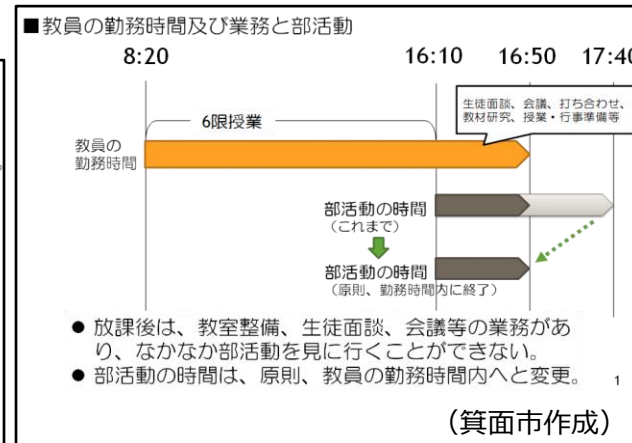
これまで学校、教職員の献身的な支援のもと運営してきたが、教職員アンケートの結果から8割を超える教員が学校部活動の指導を負担に感じていることがわかった。また、6割近くの教員が専門外、未経験の種目を指導しているという現状がある。このような状況であるにも関わらず、生徒、保護者から専門的指導を求められたり、土日祝の練習をするようにも求められている。働き方改革の流れや教員自身の子育てや親の介護等の事情もあり、顧問を引き受ける教員が減少しているため、部活動の顧問の配置がかなり難しく、学校、教職員が部活動を運営することが困難になっている。

休日の部活動が負担に感じることがある 81%

※教員アンケート（R4年6月実施）から

- 専門でない部活指導はとても難しい。  
※約6割の教員が未経験の種目の顧問をしている。
- 部活動のために勤務時間内に教材研究ができず、**時間外勤務**が当たり前になっている。
- 施設管理から生徒指導、事務仕事まで技術指導以外のクラブ雑務時間が多い。

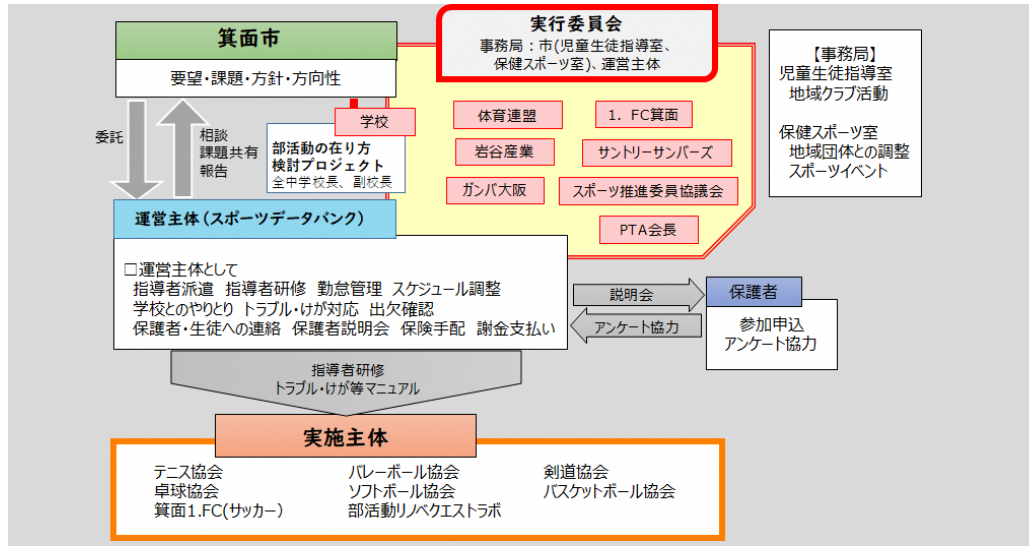
【箕面市教員アンケート（R4年6月）】



# 2.実証内容と成果

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会

- ・児童生徒指導室：部活動改革、学校との調整・連携、中学生の地域スポーツ、文化・芸術活動
- ・教職員人事室：教員の兼職兼業制度
- ・学校施設管理室：学校施設開放
- ・放課後子ども支援室：パウチャー制度

#### ◎首長部局

- ・保健スポーツ室：地域スポーツ活動の環境整備
- ・財政経営室：予算措置

## 年間の事業スケジュール

令和6年4月	地域団体との打ち合わせ クラウドファンディング等資金調達について検討 市のホームページに地域移行事業について掲載
令和6年5月	地域団体との打ち合わせ 他市町村との意見交換 人材バンクの設立の検討
令和6年6月	地域団体との打ち合わせ 第1回部活動の在り方検討プロジェクト会議 ニーズ調査(小4~6対象) 他市町村との意見交換
令和6年7月	地域団体との打ち合わせ 実施主体の可能性を連携団体に調査
令和6年8月	地域団体との打ち合わせ 再々々委託締結 第2回部活動の在り方検討プロジェクト会議
令和6年9月	地域団体との打ち合わせ 第1回部活動地域移行実行委員会 PTA連絡協議会で説明
令和6年10月	みのお地域クラブちらし配信・配付、参加申込開始 地域団体との打ち合わせ 他市との意見交換 みのお地域クラブ活動開始 兼職兼業制度の検討
令和6年12月	他市との意見交換 地域団体との打ち合わせ 第3回部活動の在り方検討プロジェクト 地域クラブ団体の認証・評価制度の検討
令和6年12月 令和7年1月	地域団体との打ち合わせ 他市町村との打ち合わせ 第2回部活動地域移行実行委員会 第4回部活動の在り方検討プロジェクト 各中学校へのヒアリング 地域団体との打ち合わせ

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	8校	実施した地域クラブ総数	8クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		8クラブ（8部活） ※参加者は全市から募集
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	23人	全体の運営スタッフ数	4人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
軟式野球クラブ	部活動リノベクエストLabo	軟式野球 (新)	年5回	休日 3時間	1年18人 2年7人 3年2人	11～12月	彩都の丘学園	6人	4人	年会費 800円	学校部活動
バスケットボールクラブ	バスケットボール協会	バスケットボール	年5回	休日 3時間	1年7人 2年5人	10～1月	とどろみの森学園	2人	4人	年会費 800円	学校部活動
卓球クラブ	卓球協会	卓球	年5回	休日 3時間	1年2人 2年4人 3年2人	10～12月	第一中学校	2人	4人	年会費 800円	学校部活動
サッカークラブ	1.FC箕面	サッカー	年5回	休日 3時間	1年3人 2年3人	12～1月	第二中学校	2人	4人	年会費 800円	学校部活動
バレーボールクラブ	バレーボール協会	バレーボール	年5回	休日 3時間	1年17人 2年26人	11～1月	第三中学校	2人	4人	年会費 800円	学校部活動
ソフトボールクラブ	ソフトボール協会	ソフトボール	年5回	休日 3時間	1年2人 2年1人	11～12月	第三中学校	3人	4人	年会費 800円	学校部活動
剣道クラブ	剣道協会	剣道	年5回	休日 3時間	1年2人 2年6人	11～1月	第四中学校	4人	4人	年会費 800円	学校部活動
テニスクラブ	テニス協会	テニス	年5回	休日 3時間	1年17人 2年22人 3年1人	11～12月	第五中学校	2人	4人	年会費 800円	学校部活動

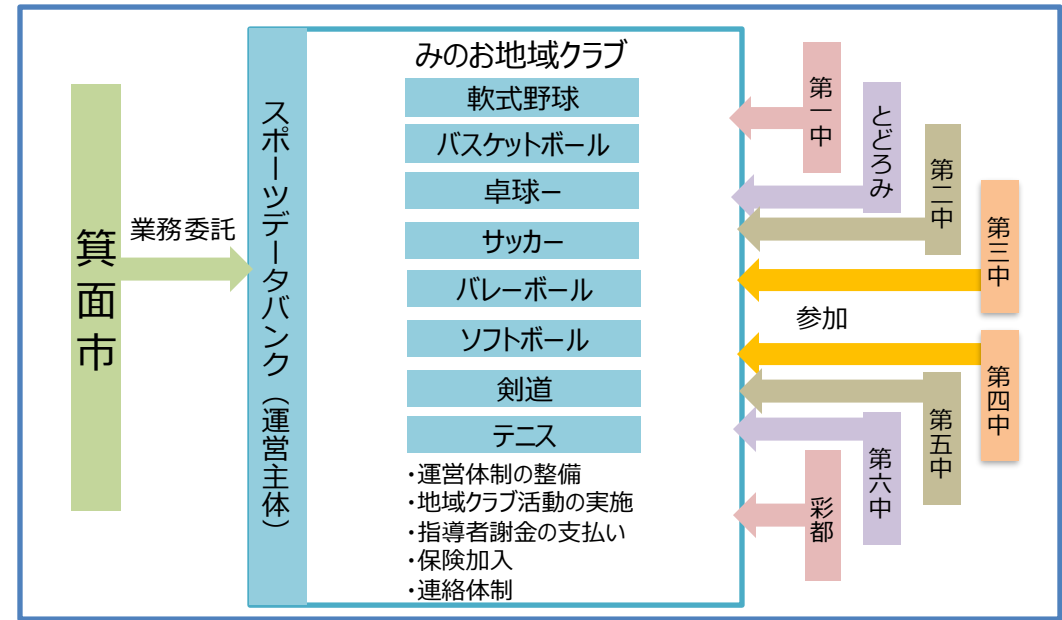
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●みのお地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球、バスケットボール、卓球、サッカー、バレーボール、ソフトボール、剣道、テニス
運営団体名	スポーツデータバンク株式会社
期間と日数	10月～2月（各5回実施）
指導者の主な属性	箕面市体育連盟（バスケットボール協会、卓球協会、バレーボール協会、剣道協会、テニス協会）、部活動リノベクエストLabo、1.FC箕面
活動場所	市内各中学校グラウンド、体育館
主な移動手段	徒歩、自転車、バス
1人あたりの参加会費等（年額）	800円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- プロデューサー 1名  
役割：事業全体の制度設計・企画立案等
- マネージャー 1名  
役割：事業全体の計画策定・企画立案、スタッフマネジメント
- エリアコーディネーター 1名  
役割：事業全体の計画策定・企画立案、指導者選定、研修、地域クラブ活動実証運営・管理・コーディネート業務等
- コーディネーター 1名  
役割：地域クラブ活動実証運営・管理業務、コーディネート業務等

# 2.実証内容と成果

## ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



### 取組内容

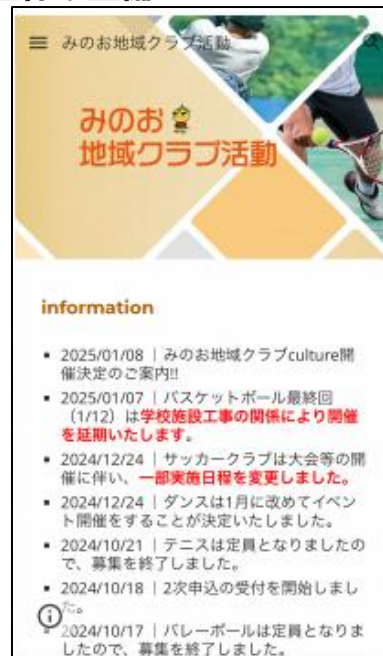
#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- ・運営管理を民間企業に委託した。  
(統括コーディネーター業務、コーディネーター業務、地域クラブ活動運営)
- ・関係団体との連絡調整を行った。
- ・近隣市町村と情報交換、意見交流を実施した。
- ・学校と実施主体と連絡をとり、日程・場所の調整を行った。
- ・令和7年度以降、活動団体として指導、運営が可能かどうかについて調査を行った。

##### 取組の成果

- ・市ホームページに、部活動地域移行事業について掲載した。
- ・公認クラブの認証評価制度の案を作成した。
- ・チラシを作成し、参加者を募集した。
- ・令和6年度みのお地域クラブのホームページを作成した。
- ・参加者（保護者）への連絡、出欠確認、練習報告等にBandアプリを活用した。
- ・今後、地域クラブ活動団体として実施の可能性がある団体や積極的に地域クラブ活動に関わりたいと考えている団体とつながることができた。



みのお地域クラブのホームページ (スポーツデータバンク)



連絡ツール (アプリ) BAND (スポーツデータバンク)

#### コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・各地域クラブ活動の活動日の設定
- ・雨天や施設使用不可等による日程変更の調整
- ・参加者への練習日、場所等の連絡、練習中止等の連絡
- ・参加申込手続き、ケガに対する保険の利用手続き

#### 今後の課題と対応方針

- ・学校施設を使用する団体の条件の明確化 (公認クラブ取扱要項、公認クラブ認定要件、公認のフロー等の整備)
- ・児童生徒、保護者、地域、教職員との共通認識 (地域移行 (地域展開) の方針、スケジュールについての周知)
- ・学校部活動との連携 (学校 (顧問) と地域クラブ活動団体との調整、ロードマップの作成)

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
**イ：指導者の質の保障・量の確保**  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

#### 取組事項

- ・箕面市体育連盟の各協会等、昨年度までの検証で連携してきた団体と協力して指導者を確保した。
- ・指導者登録システムを創設したが、全市で地域クラブ活動を開始することを決めたタイミングで使用する予定であるため、運用はしていない。公認クラブ制度と連動して運用する予定である。

#### 人材バンクの人数

・未実施

#### 人材バンクの年齢構成

・未実施

#### 取組の成果

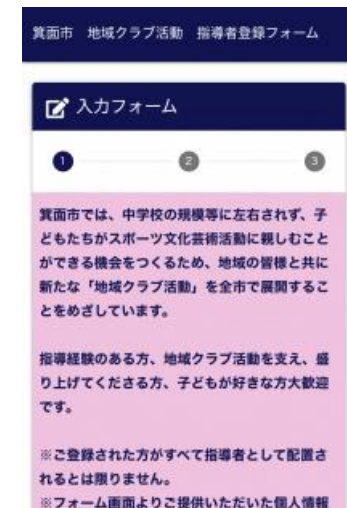
- ・今後の実施団体の確保につながった。
- ・完全地域移行（地域展開）をするタイミングで指導者登録システムの活用が可能となる。
- ・大阪府の人材バンクも活用することができる。
- ・地域クラブ活動団体の公認制度（認証・評価制度）について、協議を進めることができた。

### ■今年度の指導者について

登録者属性	種目	資格有無
箕面市体育連盟（テニス協会、ソフトボール協会、バレーボール協会、卓球協会、剣道協会、バスケットボール協会）、NPO部活動リノバクエストLabo、1.FC箕面	軟式野球 バスケットボール 卓球 サッカー バレーボール ソフトボール 剣道 テニス	指導者は以下のとおり <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者資格保有者</li> <li>・研修受講者</li> <li>・教員経験者</li> <li>・部活動指導員経験者</li> <li>・中学生への指導経験がある者</li> </ul>



・未実施（チラシ案）



・未実施（入力フォーム案）

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

##### 指導者研修の内容

##### 【eラーニング研修】

- ・対象：対象クラブにおける指導者
- ・目的：地域クラブ活動におけるコンプライアンスやハラスメント防止等への理解促進のため
- ・手法：eラーニングによる実施  
(スポーツデータバンク社・三井住友海上火災保険研修サービス)

##### ●その他研修（自然災害への対応・コンプライアンス・ハラスメント等）

研修	主な内容	時間・方法
事前 研修②	・自然災害への対応 (e-Learning)	e-learning (オンデマンド) 20分程度/各項目
	・救命救命・救護 (e-Learning)	
	・防犯 (e-Learning)	
	・コンプライアンス・ハラスメント (e-Learning)	
	・メンタルヘルスマネジメント (e-Learning)	
	・個人情報保護 (e-Learning)	



e-learning受講 (オンデマンド) → 確認テスト → 指導者認証・情報開示

出典:運営団体研修資料

##### 指導者研修の参加実績

- ・開催日：10月～12月
  - ・開催回数：各指導者1回以上
  - ・参加人数：21人
- ※eラーニング研修は各個人にて受講。

##### 受講者の声

##### ○受講した地域クラブ指導者の声

「e-Learningを受講したことで、指導面だけでなく、安心安全な活動とするために必要な知識も得ることができ、生徒や保護者の方と良い関係を築く準備ができた。」

##### ○どのような研修があると良いか（アンケート調査結果より）

「過去、学校クラブ等において発生した問題点と対応策に関する研修」  
 「教員との連携、教育的指導、不登校など課題を抱えた生徒への対応等」  
 「指導実践等の技術研修」

##### 今後の課題と対応方針

- 本年度実施した研修では、コンプライアンスやハラスメントなど競技指導以外においても指導者として必要な研修を運営団体にて実施した。
- 今後は各団体が独自で研修の実施等を行うことで、自走したクラブ運営を促すとともに、公認クラブとして認定するために必要な研修の基準を設定する必要がある。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
**ウ：関係団体・分野との連携強化**  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

#### 取組事項

- ・部活動地域移行実行委員会を開催し、協議した。
- ・令和4年度、令和5年度実証の協力団体に、令和7年度以降の地域クラブ活動実施主体として指導及び運営が可能かどうかについて調査した。
- ・新規地域団体を開拓した。

#### 取組の成果

- ・「認証・評価制度」について意見交換し、必要性、内容等について共通認識ができた。
- ・地域クラブ活動のめざす姿について意見交換し、ゴール（学校部活動の終了時期）設定、終了に向けてのスケジュール作成の必要性について共通認識を形成することができた。
- ・地域クラブ活動実施主体として指導・運営が可能かだと回答した団体と通年の活動の在り方、方針等について打ち合わせをした。カテゴリー別活動や体験コース等、種目の特性やニーズに合わせた多種多様な活動について検討した。
- ・学校、地域クラブ活動団体、市の担当で地域移行（地域展開）、今後の方向性について協議した。

### 部活動地域移行実行委員会

事務局：市(児童生徒指導室、保健スポーツ室)、運営主体(SDB)

体育連盟

サントリーサンパース

岩谷産業

ガンバ大阪

スポーツ推進委員協議会

1. FC箕面

PTA会長

中学校長

#### 第1回部活動地域移行実行委員会

- ・実施日 令和6年9月24日（火）
- ・参加者 実行委員8名  
事務局5名
- ・内容 地域クラブ活動の検証  
認証・評価制度  
ニーズ調査結果

#### 第2回部活動地域移行実行委員会

- ・実施日 令和7年1月14日（火）
- ・参加者 実行委員8名 事務局2名  
地域クラブ活動団体5名
- ・内容 地域クラブ活動の検証  
R7の取組について意見交換  
最終型について意見交換

(第3回部活動地域移行実行委員会は3月に実施予定)

#### 今後の課題と対応方針

- ・完全移行（完全展開）に向けて新たな地域クラブ活動団体を開拓する必要がある
- ・地域の民間企業、大学等とも連携し、子どものニーズへの対応、新たな種目クラブの創設するについて議論を重ねていく

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実①

##### 取組事項

- ・8種目の地域クラブを実施した。
- ・全市立中学校在籍生徒へチラシを配布し、だれでも参加できる活動とした。
- ・令和6年度みのお地域クラブ活動「軟式野球」では、コース別の活動を検証した。（参加者がコースを選択）
- ・第1回活動では、自己分析や目標設定、個別面談などを実施
- ・第2回、第4回活動では、スポーツトレーナーによる講座（座学と実践）
- ・第3回、第5回の活動では、参加者が希望するコース別での練習を実施
- ・令和6年度みのお地域クラブ活動の実証後、独自の活動（箕面市教育委員会後援）を5回実施

##### 活動の詳細

参加人数	27人	指導者数	4人
属性	NPO法人部活動リノバクエストLabo		
具体的な内容	第1回：自己分析・目標設定など個人面談・運動能力測定 第2回：スポーツトレーナーによる「アライメントと動作」セミナー 第3回：アップメニュー、コース別プログラム 第4回：スポーツトレーナーによる走り方講座 第5回：自己評価、コース別プログラム		
参加者保護者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 野球のためのストレッチやバランス運動、自己流になっているキャッチボールの基礎から教えてもらえて良かった。</li> <li>● 動きの着目するポイントを言葉にして教えておられるのがとても良い印象でした。帰ってきてからも振り返りながら練習ができそうだと思います。</li> <li>● 教えられたことをするだけでなく、自分で考え、人と話し合っ取り組むことも野球をする上で大切なことなんだなと思いました。</li> <li>● 専門的な知識があるコーチに指導していただけて多くのことを学ぶことができたのではないかと思います。</li> <li>● トレーニングとして楽しくできたようで良かったです。野球とは違っていたようで話を聞いている感じでは物足りなさを感じました。</li> </ul>		
参加費 (参考)	(参考) 独自検証事業について (令和6年12月22日～令和7年1月12日 5回実施) ※モニター価格 Laboコース 6,600円 アクティブコース 4,400円 スタンダードコース 1,100円		

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 オ：内容の充実②

#### 取組の成果

市内小学校4年生～6年生を対象にニーズ調査「放課後、休日の過ごし方についてのアンケート」を実施した。

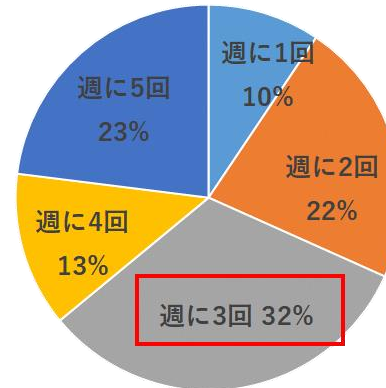
#### 【結果からわかること】

- ・約3分の1の子どもが「週3回、活動したい」と思っている。
- ・複数の活動に参加したいと回答している子どもが4割近くいる。
- ・多くの子どもが「仲間をつくりたい」、「友だちと楽しく過ごしたい」、「上手になりたい」、「上達したい」と思っている。

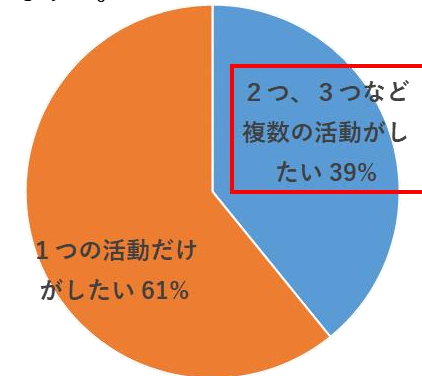
#### 今後の課題と対応方針

- ・学校部活動にある種目以外の種目の地域クラブ活動について検討（地域団体の開拓、地域の企業や大学との連携）

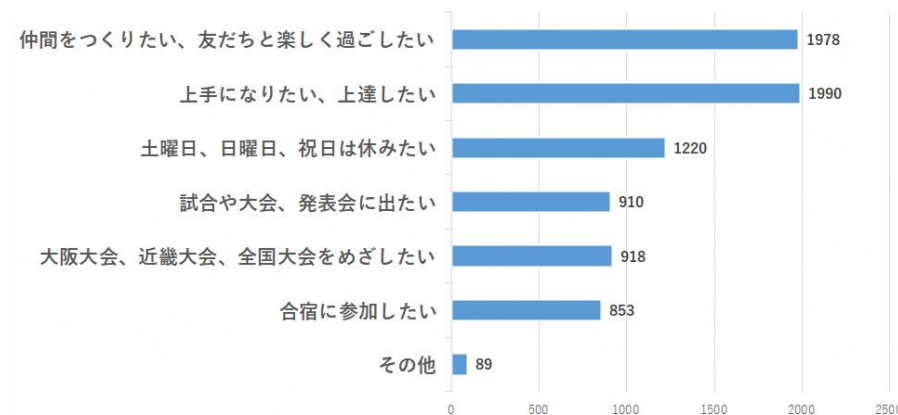
Q：週に何回（何日）活動したいですか。



Q：放課後や休日に、1つだけではなく、2つなど複数の活動がしたいと思いませんか。



Q：どんなふうに活動したいですか。（複数回答可）



【放課後、休日の過ごし方についてのアンケート】

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

- ・令和6年度のみのお地域クラブ活動は参加費を徴収して実施した。（参加費は800円（全5回））
- ・クラウドファンディングについて検討したが、具体的な物品ではなく、抽象的な事業費として集めることは難しかったため断念した。
- ・地域移行（地域展開）検証期間については、地域クラブ活動団体を補助（委託金）することで、参加費なし（あるいは軽減）としていく。

##### 地域クラブに係る経費

令和7年度（8団体で休日通年の地域クラブ活動を実施）（案）	
諸謝金（地域クラブ活動、イベント）	5,455,120円
消耗品費（救急セット、熱中症セット等）	284,240円
印刷製本費（ちらし、ポスター）	353,370円
保険料（指導者用）	199,600円
会議費（謝金）	448,000円
合計	6,740,330円

##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

###### 地域クラブ活動（通年休日のみ8クラブ） + イベント実施（案）

活動費	¥5,739,360
活動費（保険料）	¥199,600
運営費	¥801,370
合計	¥6,740,330

・休日の地域クラブ活動を運営するためには、3,000円～5,000円／月の参加費を徴収する必要があると考えられる。

（参加費は地域クラブ活動団体が設定する）

###### 参加者負担試算（最低金額） 月額

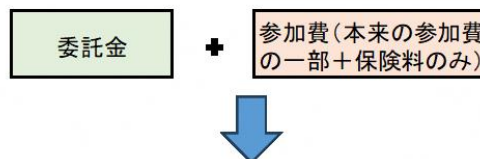
①活動費（保険料のみ）	¥104
②活動費	¥3,093
③活動費 + 運営費	¥3,511

※必要経費は地域クラブ活動団体によって異なる

※20人／1クラブの想定

##### 収支バランス

###### ■検証期間



###### ■完全地域移行（地域展開）



※生活困窮家庭への支援（バウチャー制度）

・完全地域移行（地域展開）するまでは実証期間とし、地域クラブ運営を補助する。（委託金内で地域クラブ運営が難しい活動団体は、必要な加費を集める。）

・完全地域移行（地域展開）時は、各地域クラブ活動団体が自走できるように、検証生かして参加費設定し徴収する。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

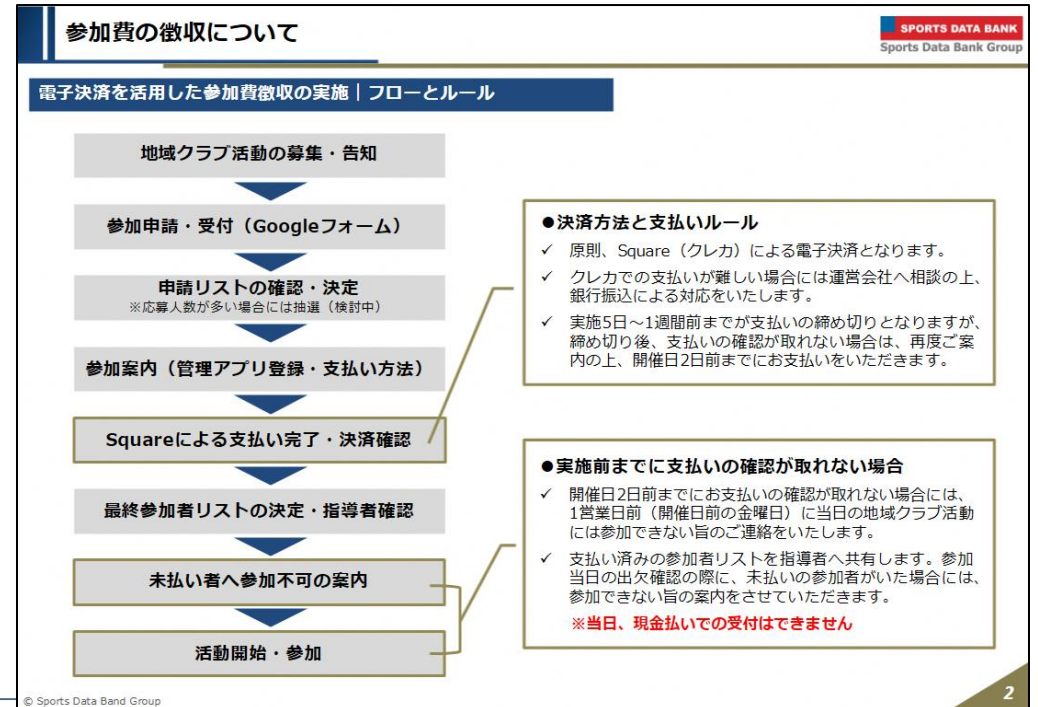
### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

#### 取組の成果

- ・参加費の徴収して、地域クラブ活動を実施することができた。
- ・今後の参加費の在り方（方向性）について協議した。

#### ※参加費の在り方（方向性）

- ・地域移行（地域展開）検証期間については、地域クラブ活動を補助（委託金）することで、参加費なし（あるいは軽減）としていく。
- ・完全地域移行（地域展開）する時には、各地域クラブ活動団体が自走できるようにする。
- ・各地域クラブ活動団体によって必要経費が異なることから、参加費は各地域クラブ活動団体が設定する。



【スポーツデータバンク資料】

#### 今後の課題と対応方針

- 各地域クラブ活動団体への補助は継続できない。（完全地域移行(地域展開)する時には、各地域クラブ活動団体が自走できるようにする。）
- 参加費の徴収（必要経費と参加費徴収の必要性について、教育委員会、学校、地域クラブ活動団体から説明していく。）
- 経済的困窮家庭への支援（バウチャー制度との連携（放課後子ども支援室との連携））

- スムーズな参加費徴収システム（安心して使用できるツール等の情報収集、各地域クラブ活動団体との情報共有）
- 具体的な物品（（例）ボール、倉庫、ビブス、投光器等）が必要な場合、今後クラウドファンディングの活用や、企業等の寄附について依頼を検討する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

- ・市内全中学校、小中一貫校を会場として実施
- ・指導者による開錠、施錠、及び施設の管理
- ・事前にセキュリティシステムの使用方法を共有

##### 取組の成果

- ・部活動の在り方検討プロジェクト会議での情報共有、各校との打ち合わせを通して共通理解を深めることで、学校体育施設を使用した地域クラブ活動を実施することができた。
- ・施設案内図、セキュリティシステム使用方法、各種目の使用設備や備品等の場所を事前に指導者と共有、確認をしたので、スムーズに学校施設を使用することができた。

##### 今後の課題と対応方針

- ・地域クラブ活動を実施することを知らない教職員がいたため、地域クラブ活動の施設利用状況が共有できるシステムをつくる。



- ・平日の活動（夕方～夜間）については、学校施設開放事業があるので、学校施設開放ルールに沿って使用する必要がある。（ルールの整理等について学校施設管理室との協議を進めていく。）

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

- ・地域クラブ活動団体が主体の活動であり、各団体が自走できる仕組みを構築する必要がある。
- ・活動団体の運営を支援するサポートセンターが必要である。
- ・地域クラブ活動体制を整備する上で、公認クラブ制度が必要である。
- ・公認クラブの公認ルール（認証・評価制度）、公認のフロー（ガイドラインの策定）が必要である。
- ・地域クラブ活動の立ち上げには、学校や地域の状況、ニーズとのマッチングが必要である。
- ・学校部活動と地域クラブ活動が連携して、学校と教育委員会で協力してロードマップを描く必要がある。
- ・既存の学校施設開放のルールの整理、見直し等について学校施設管理室と協議を進めていく必要がある。
- ・持続可能な地域クラブ活動にするためには、参加費の徴収が必要である。必要経費と参加費徴収の必要性について保護者、地域、教職員の理解を得られるよう今後も周知を行う必要がある。

#### ●成果の評価

- ・教育委員会で当面のめざす形（休日の地域移行（地域展開））についてコンセンサスを得ることができた。
- ・令和7年度から、通年の休日の地域クラブ活動を8クラブで開始する。
- ・地域クラブ活動団体となる可能性がある団体と、必要経費や参加者募集、参加費徴収等の運営方法等について協議を進めることができた。
- ・公認クラブ制度、認証評価制度の大まかな内容について、実行委員や各団体と共通認識を持つことができた。
- ・各校の部活動の状況をヒアリングし、地域クラブ活動の活動場所をマッチングすることができた。

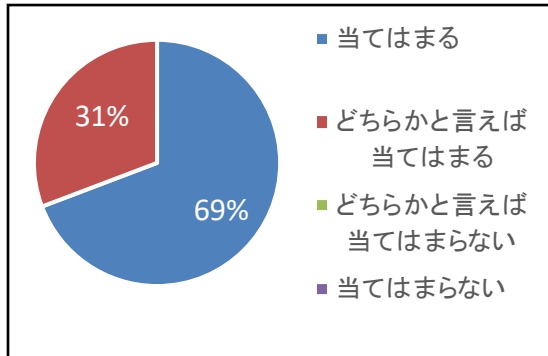
#### ●今後に向けて

- ・学校部活動から地域クラブ活動へ地域移行（地域展開）する方針や今後のスケジュール、参加費の必要性等、子ども、保護者、地域、教職員の理解を得るためのパンフレットを作成・配布する。
- ・公認クラブの認定要件、認定フロー等を作成する。
- ・各校の部活動の状況、公認クラブの獲得状況をもとに、完全地域移行（地域展開）の時期について検討する。

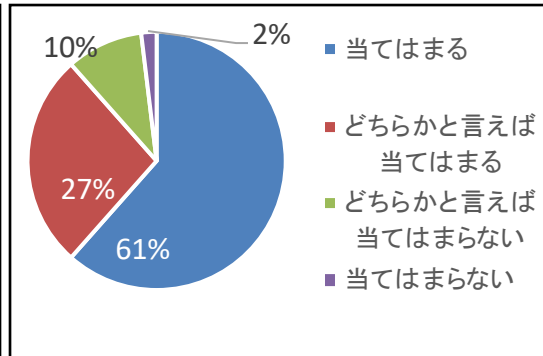
## アンケート結果・参加者の声

### ●参加生徒、保護者対象アンケート結果

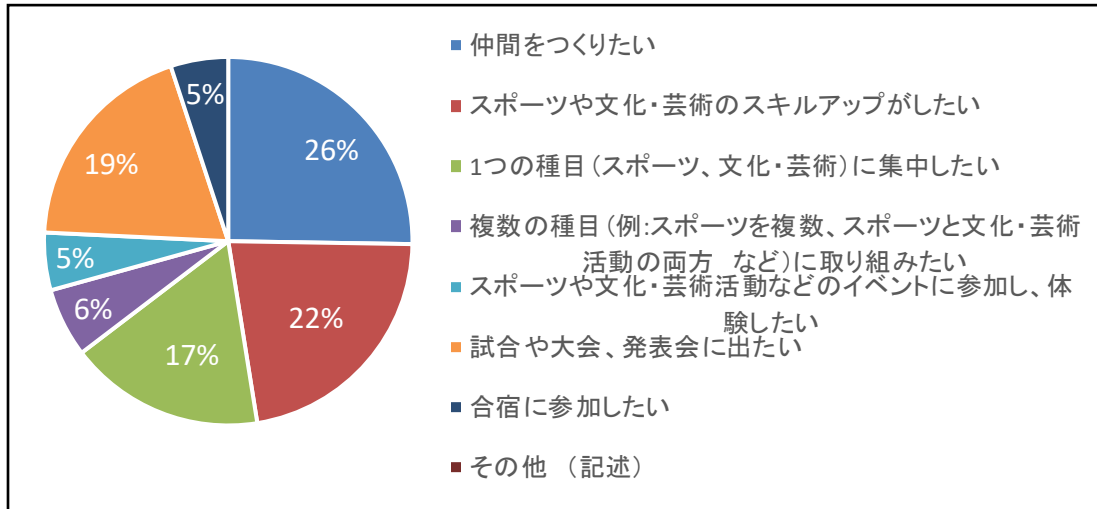
Q.ていねいに教えてもらえたと思いますか。(生徒対象)



Q.前向き・積極的に活動できましたか？(生徒対象)



Q.放課後や休日にどのような活動がしたいですか？



### ●参加者の声

#### 参加生徒

- ・勉強と両立させたい。
- ・企業を知るためのイベントやボランティア活動
- ・軽音部(学校内に活動がないため)
- ・女子にもサンバーズジュニアのようなチームがあったらいいな。

#### 保護者

- ・勉強会。みんなで教え合ったり、大学生などの話が聞けたり、楽しく勉強する意欲がわくような会があればいいと思う。
- ・安心して一生懸命スポーツができる活動
- ・継続して取り組めるものがあればよいと思う。
- ・通学している学校にはない活動にも参加することができるとうれしい。
- ・いろいろなスポーツに挑戦できるようになるとよい。
- ・普段交流ができない他校生といっしょに活動できる場があればいい。
- ・気軽に楽しめる教室のようなもの。自分にあったものを探れるような場所。安い、ネットで予約やキャンセルが可能、行きやすいなど。
- ・休日は家族と過ごしたり勉強時間に充てたいので、土日の活動は特に求めない。
- ・仲間との協力、チームとしての結束力が強くなればと思います。
- ・ロードトレーニングやストレッチ、体幹などの基礎的なトレーニング
- ・こども食堂のような気軽に行けるこどもの居場所づくり
- ・好きなものに専念できる活動

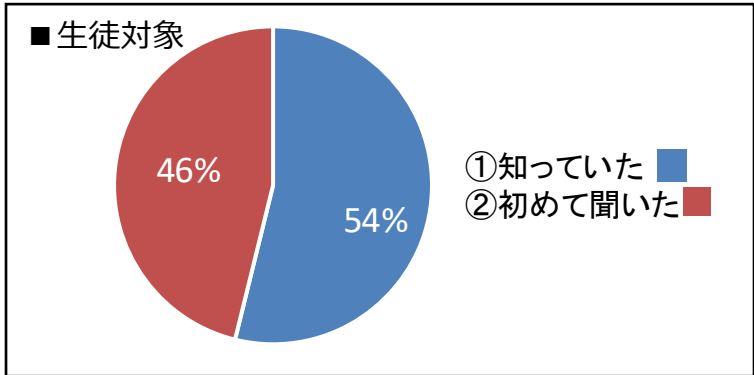
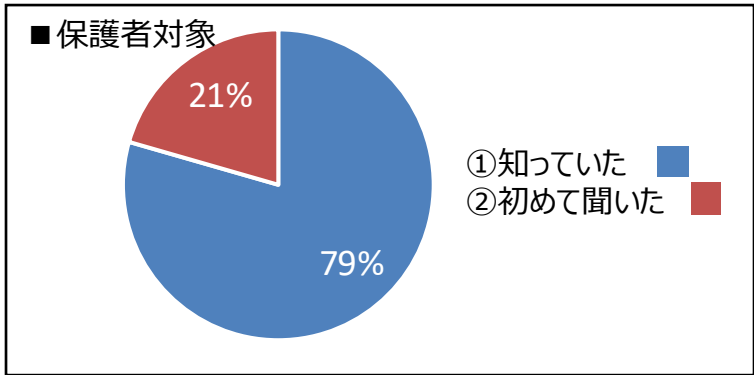
## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果・広報資料

・今年度の地域クラブ活動は、全種目を載せた案内チラシを作成し、市内全中学校及び小中一貫校に複数回配信・配布した。

・令和4、5年度からの実証を通して、部活動の地域移行（地域展開）の取り組みについて周知してきた。

『部活動地域移行（地域展開）』について、国の動向や各自治体での取り組みを知っていましたか。



【令和6年度みのお地域クラブアンケート結果】

令和6年度  
箕面市地域クラブ活動実施要綱及び体制整備事業

# みのお地域クラブ活動

10/27①～1/26②

1次申込  
10/15①

※定員に達しない場合は随時募集します

Over View

対象	箕面市立学校在籍の中学生(7~9年)	申込方法はコチラ	QRコードを読みとりWeb申込フォームよりお申込ください
実施内容	観戦をご覧ください		
実施回数	各プログラム5回程度		
活動時間	3時間程度/回		
参加費	800円 ※保険料相当額		
申込締切	1次申込 10/15(火)まで		

主催 箕面市教育委員会 運営 スポーツチーナパワック株式会社

実施クラブ	指導者所属団体	開催日時	会場校
軟式野球	部活動 シノバウエスト Labo	● 11/2① 8:30~ ● 12/7② 11:30~	彩都の丘学園 グラウンド
		● 11/9① 8:30~ ● 12/15② 11:30~	
		● 11/30① 8:30~	
バスケットボール	バスケット ボール協会	● 10/27① 14:30~ ● 12/22② 14:30~	とどろみの森学園 アリーナ(体育館)
		● 11/24① 8:30~ ● 1/12② 11:30~	
		● 12/14① 14:30~	
卓球	卓球協会	● 10/27① 11:20~ ● 12/1② 11:20~	第一中学校 体育館
		● 11/14① 11:20~ ● 12/7② 11:20~	
		● 11/24① 11:20~	
サッカー	J.FC 箕面	● 12/25① 14:00~ ● 1/6② 14:00~	第二中学校 グラウンド
		● 12/26① 14:00~ ● 無休②	
		● 12/27① 14:00~	
バレーボール	バレー ボール協会	● 11/30① 8:30~ ● 12/21② 8:30~	第三中学校 体育館
		● 12/7① 8:30~ ● 1/12② 8:30~	
		● 12/14① 8:30~	
ソフトボール	ソフト ボール協会	● 11/10① 9:00~ ● 12/6② 9:00~	第三中学校 グラウンド
		● 11/17① 9:00~ ● 12/22② 9:00~	
		● 12/1① 9:00~	
剣道	剣道協会	● 11/9① 8:30~ ● 12/21② 8:30~	第四中学校 体育館
		● 11/16① 8:30~ ● 1/11② 8:30~	
		● 12/7① 8:30~	
テニス	テニス協会	● 11/9① 8:30~ ● 12/7② 8:30~	第五中学校 テニスコート
		● 11/16① 8:30~ ● 12/14② 8:30~	
		● 11/30① 8:30~	
ダンス	LINO DANCE STUDIO	● 11/23① 11:30~ ● 1/7② 11:00~	第六中学校 体育館
		● 12/7① 8:30~ ● 1/18② 11:30~	
		● 12/21① 11:30~	

実施プログラムの詳細については専用Webサイトにて掲載します  
<https://sites.google.com/view/mino-h-club-sdb/home>  
 ※実施日の変更となる可能性もございますので、参加前にサイトをご覧ください

お申込み注意事項について

- 応募者多数の場合は抽選となります。
- 持ち物や服装はプログラムによって異なります。詳しくは専用Webサイトよりご覧ください。
- 本プログラムの参加費は事前支払いになります。支払い確認ができない場合は、当日ご参加いただけません。
- 往復の移動は、徒歩や公共交通機関をご利用ください。
- 往復の移動について - 校区外の会場への移動の場合は、ご自身の到着までご乗降ください。
- お申し込みを撤回し、安全に帰るようご配慮くださいますようお願いいたします。
- 悪天候時は雨天の場合、中止となる場合がございます。

お問い合わせ  
公式LINEよりご確認ください  
<https://line.me/tv/jc1>

【みのお地域クラブ活動のチラシ】

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【バレーボールクラブ】



【剣道クラブ】



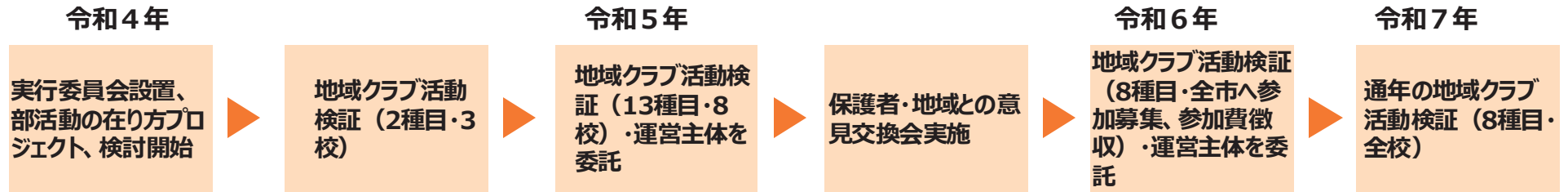
【バスケットボールクラブ】



【卓球クラブ】

## 2.実証内容と成果⑤

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ステークホルダー

学校、体育連盟（各協会）、競技団体、地域の企業  
市長部局、市教委、統括管理団体

#### 経過

令和4年度から部活動地域移行実行委員会、各中学校長との部活動の在り方プロジェクトを設置し、地域クラブ活動体制の構築に向けて協議を進めてきた。令和4年度、令和5年度は体育連盟の各協会、地域団体を実施団体とした地域クラブ活動の検証に取り組み、運営及び指導について検証した。令和6年度は、令和7年度から進める通年の地域クラブ活動に向けた活動団体（実施主体）による運営について検証を行った。

#### 実施内容

8団体（8種目）による地域クラブ活動を検証した。学校部活動をそのまま地域の指導者が指導にあたるのではなく、学校部活動とは切り離れた活動団体主体の活動とし、全市へ参加募集をした。また、参加費を集めて実施した。各活動団体と来年度以降の通年の活動及び運営について協議した。

#### 実施にあたって生じた課題

中体連主催の大会参加、大会運営について、学校部活動との調整が必要である。（運営方法等の見直しが必要）

学校部活動との場所調整が難しい。

平日の練習が可能な団体が練習場所を確保するためには、学校施設利用ルールについて協議する必要がある。

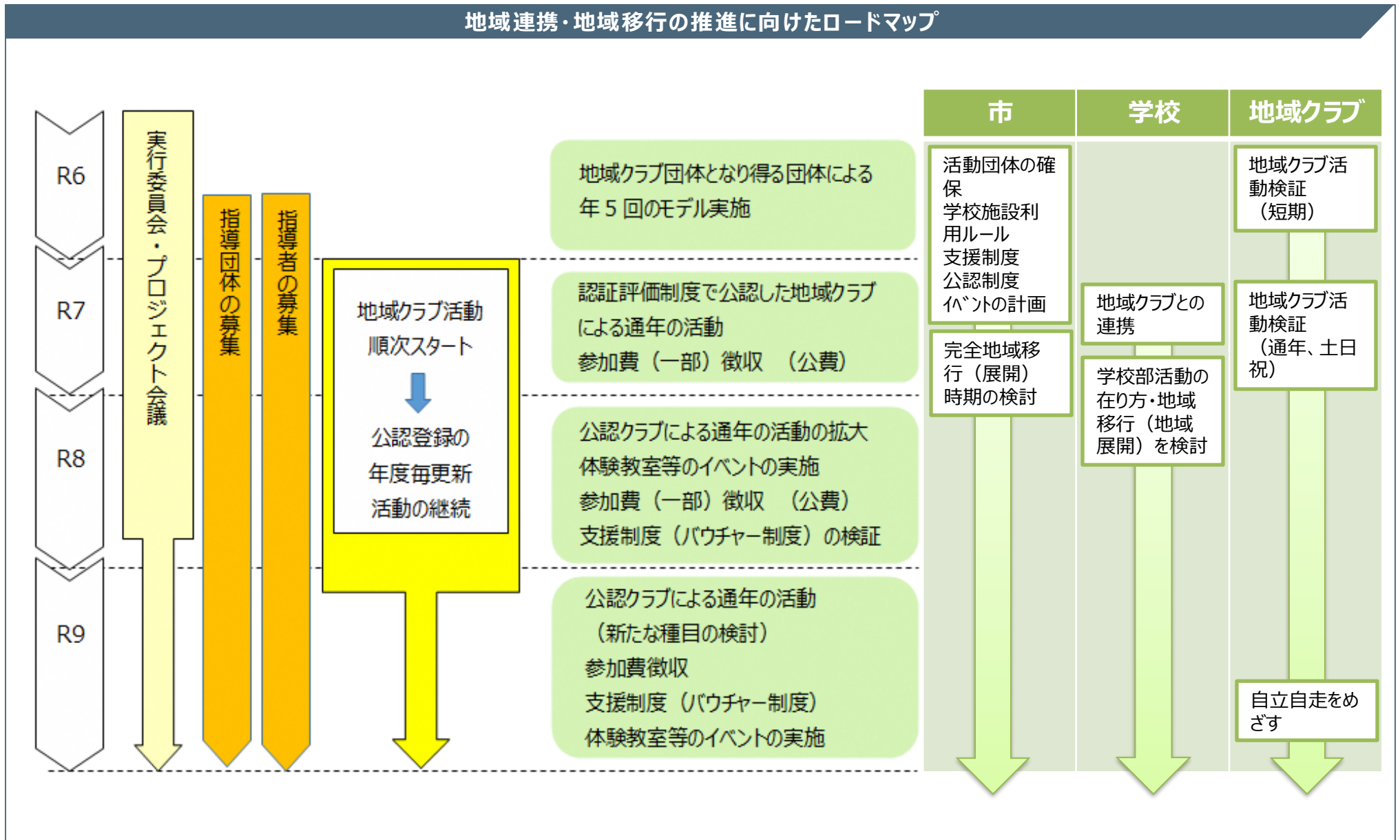
ミーティングや座学をする場所や雨天でグラウンドが使えない時の室内トレーニングができる場所の確保など、多様な活動に対応できるとよい。

#### 今後の展開

令和7年4月から、市内8種目の地域クラブを地域団体に委託し、通年の休日の地域クラブ活動を検証する。持続可能な地域クラブ運営とするために、参加費を徴収する（検証期間は委託金を活用し、各団体の設定する参加費より低額とする。）令和7年度は、保護者の理解を得るために、地域クラブの紹介ちらしやパンフレットを作成し、会費負担の必要性について説明する。

# 3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 大阪府 門真市

自治体名：大阪府門真市

担当課名：学校教育課

電話番号：06-6902-7042

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	総面積12.3 km <sup>2</sup>
人口	116,367 人
公立中学校数	6 校
公立中学校生徒数	2,236 人
部活動数	68 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定中

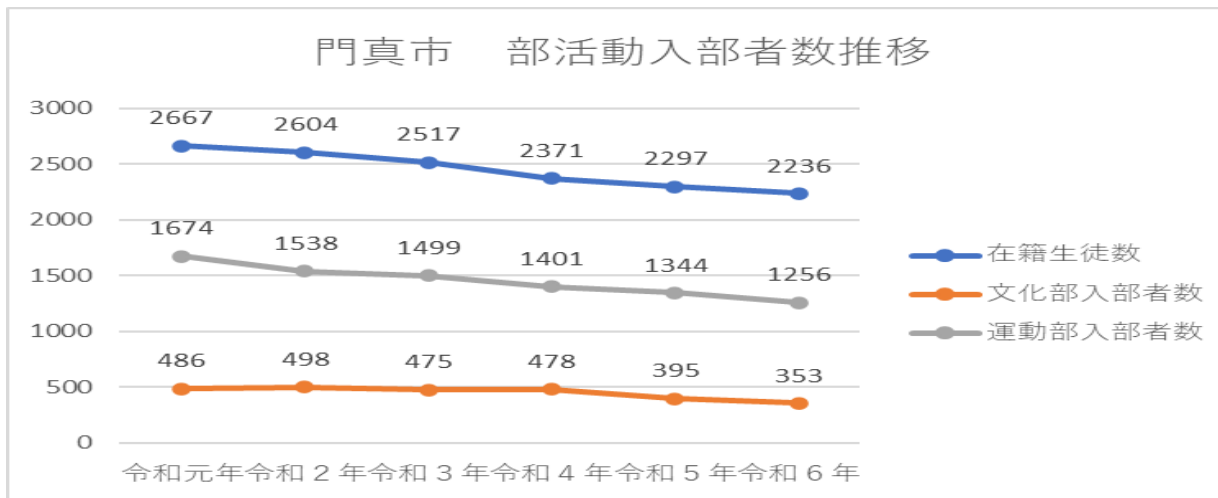
## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、門真市の運動部活動は、全6中学校で合計68部あり、毎日活発に活動をしている。しかし近年少子化の影響で生徒数の減少、それに伴う教職員数の減少もあり、平成29年から令和4年までの5年間に16部活動が廃部になるなど、門真市においても部活動の維持継続が大きな課題となっている。部員数の減少もあり、団体競技等においては、中学校単独でチームが組めない中学校も出てきており、練習は各校にて行い、試合等では合同チームによる活動を行っている種目もある。

任用・派遣を行い、顧問教員の負担軽減を図りつつ、部活動指導の地域連携を進めてきた。また令和6年度より部活動の休日の地域移行をめざすため、まずモデル校を設定し、運動部活動の地域移行に取り組んでいる。

地域移行を進めるにあたり、指導者と参加者・保護者との信頼関係をどのように構築するか、平日の部活動との指導方針の調整をどのように行うのかなど、今後も検討を進めていかなければならない。

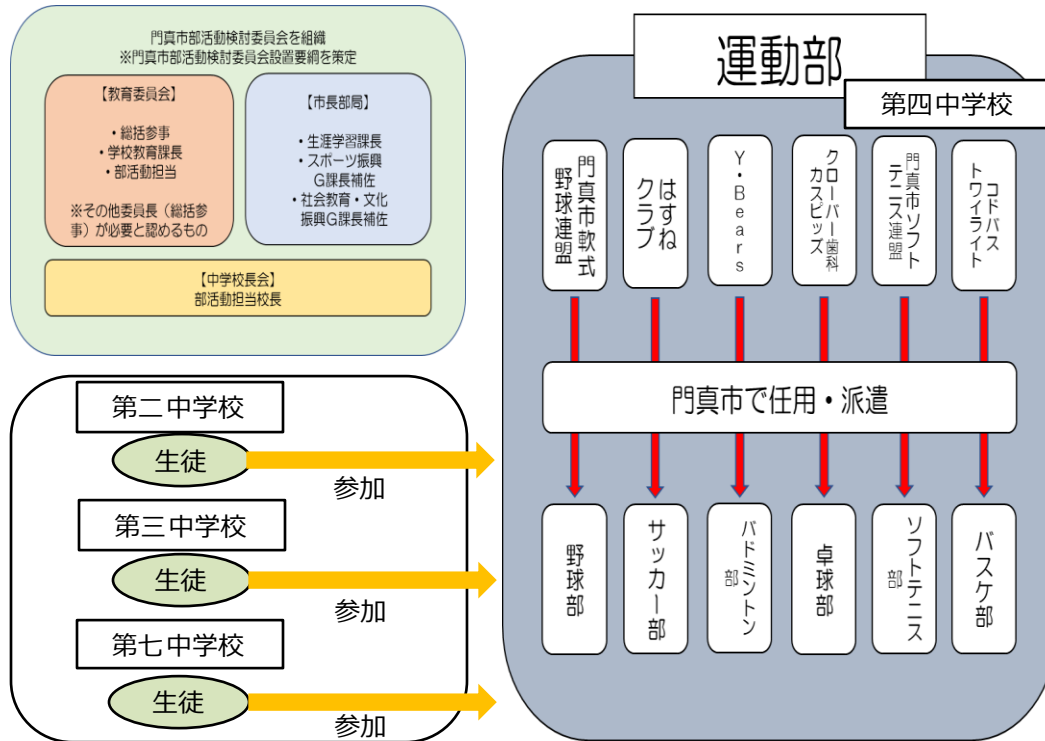
門真市では令和5年度より部活動指導員の



# 2.実証内容と成果

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



### ●行政組織内での役割分担

- ◎教育委員会
  - ・指導員の任用、各スポーツ団体等との調整、学校との調整
- ◎首長部局
  - ・各スポーツ団体等の発掘・連絡等

## 年間の事業スケジュール

《年間》	新たな指導者の発掘等 取組の広報活動
《毎月》	部活動検討委員会の実施 各スポーツ団体との調整・学校 との調整・指導者のシフト管 理・給与の支払い等
令和6年4月	推進校における実施準備開始
令和6年5月	各スポーツ団体等の指導員に よる休日の指導（地域移行） を段階的に開始
令和6年9月～	R7の方針立案・予算要望
令和7年1月	アンケートの実施 （対象：参加生徒、保護者） R7方針を保護者等に通知
令和7年2月	事業完了報告書作成 成果報告書作成

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	6 校	実施した地域スポーツクラブ総数	4 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		4 クラブ（8 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域スポーツクラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	17 人	全体の運営スタッフ数	0 人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
卓球クラブ（指導者：クローバー歯科カスピズ）	市教育委員会	卓球	月 4 回	9：00 ～ 12：00	1年：21人 2年：17人	令和6年 7月～	第四中学校体育館 第七中学校体育館	2 人	0 人	月会費 0 円	中体連：部活動
バドミントンクラブ（指導者：Y-Bears）	市教育委員会	バドミントン	月 4 回	12：00 ～ 15：00	1年：12人 2年：26人 3年：15人	令和6年 7月～	第四中学校体育館	7 人	0 人	月会費 0 円	中体連：部活動
軟式野球クラブ（指導者：門真市軟式野球連盟）	市教育委員会	軟式野球	月 4 回	9：00 ～ 12：00	1年：18人 2年：7人 3年：2人	令和6年 7月～	第二中学校運動場	7 人	0 人	月会費 0 円	中体連：部活動
男子バスケットボールクラブ（指導者：コパス）	市教育委員会	男子バスケットボール	月 4 回	9：00 ～ 12：00	1年：6人 2年：7人 3年：5人	令和6年 7月～	第四中学校体育館	1 人	0 人	月会費 0 円	中体連：部活動

※当初実施を予定していたソフトテニスクラブとサッカークラブについては、顧問や指導者との調整が難航した結果、実施には至らなかった

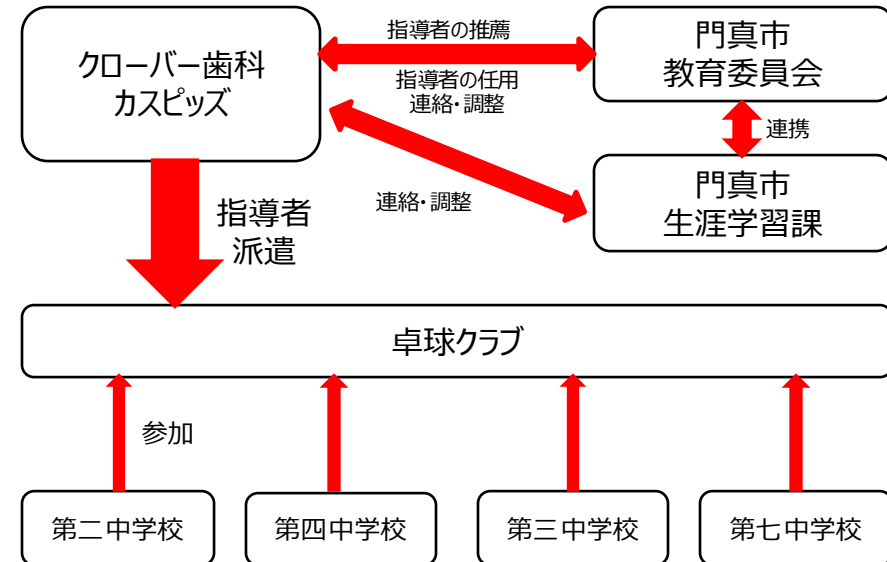
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●卓球部 活動概要

地域スポーツクラブ活動で実施した種目	卓球
運営団体名	門真市教育委員会
期間と日数	卓球：7月21日～2月14日 月4回程度
指導者の主な属性	実業団 クローバー歯科カスピッツ
活動場所	第四中学校 第七中学校
主な移動手段	自転車
1人あたりの参加会費等(年額)	卓球：0円
1人あたりの保険料	団体総合保障制度費用保険 生徒一人あたり：3,375円/年  賠償責任保険 生徒一人あたり：88円/年

#### ●運営体制図(地域スポーツクラブ活動を実施する際の運営体制図)



#### ●指導者の役割分担等

##### ●指導者 2名

役割：各学校の部活動顧問と練習日程や指導方針の調整を行う。

活動日に生徒の指導を行う。

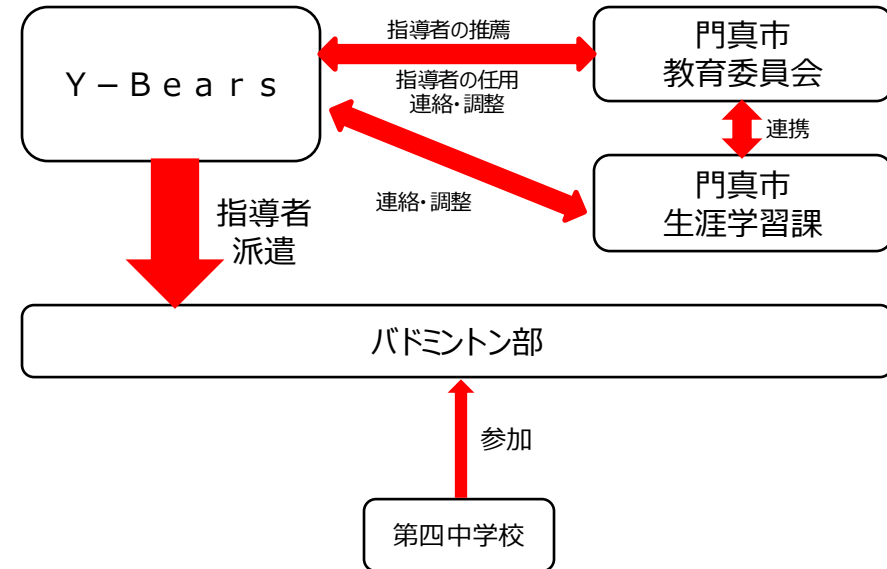
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●バドミントン部 活動概要

地域スポーツクラブ活動で実施した種目	バドミントン
運営団体名	門真市教育委員会
期間と日数	バドミントン：7月21日～2月14日 月4回程度
指導者の主な属性	クラブチーム Y-Bears
活動場所	第四中学校
主な移動手段	自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	バドミントン：0円
1人あたりの保険料	団体総合保障制度費用保険 生徒一人あたり：3,375円/年  賠償責任保険 生徒一人あたり：88円/年

#### ●運営体制図（地域スポーツクラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者の役割分担等

##### ●指導者 7名

役割：第四中学校の部活動顧問と練習日程や指導方針の調整を行う。

活動日に生徒の指導を行う。

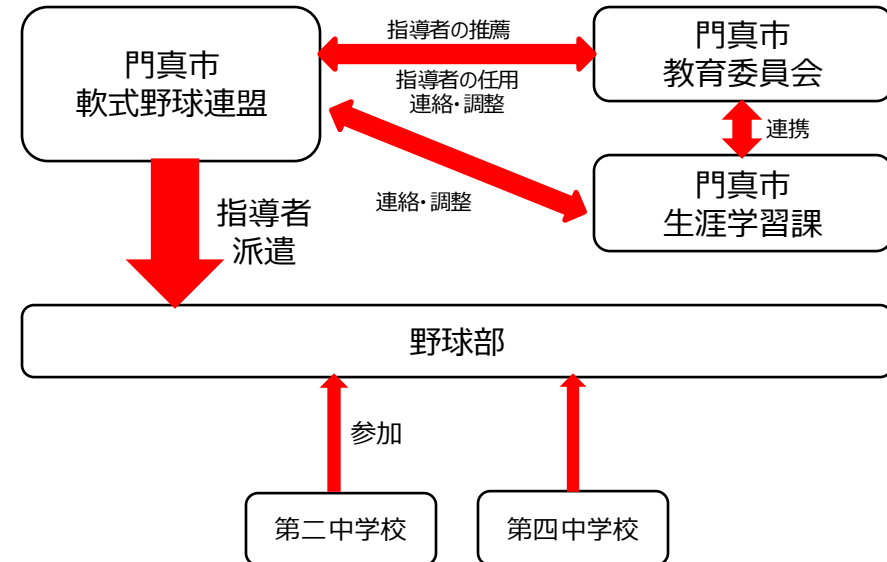
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●野球部 活動概要

地域スポーツクラブ活動で実施した種目	軟式野球
運営団体名	門真市教育委員会
期間と日数	軟式野球：7月21日～2月14日 月4回程度
指導者の主な属性	門真市軟式野球連盟
活動場所	第二中学校
主な移動手段	自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	軟式野球：0円
1人あたりの保険料	団体総合保障制度費用保険 生徒一人あたり：3,375円/年  賠償責任保険 生徒一人あたり：88円/年

#### ●運営体制図（地域スポーツクラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者の役割分担等

##### ●指導者 7名

役割：各中学校の部活動顧問と練習日程や指導方針の調整を行う。

活動日に生徒の指導を行う。

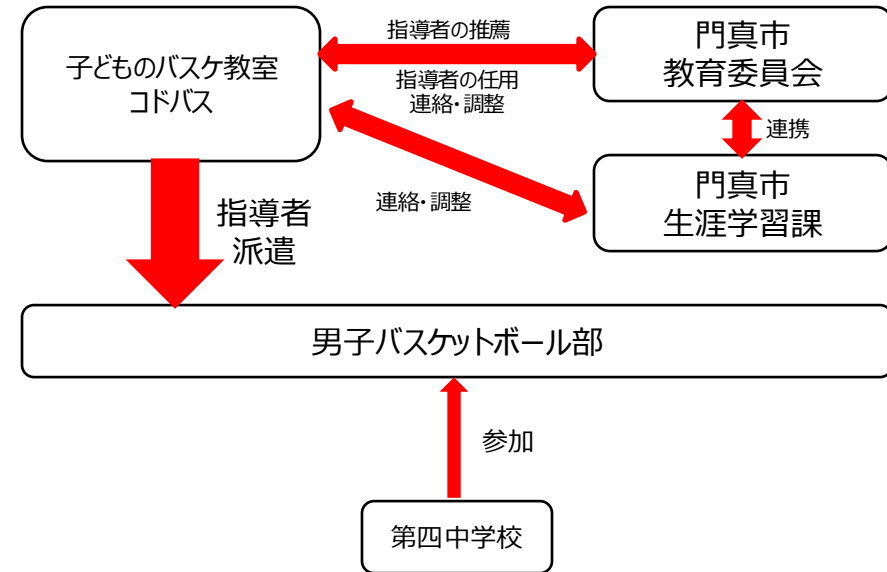
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●男子バスケットボール部 活動概要

地域スポーツクラブ活動で実施した種目	男子バスケットボール
運営団体名	門真市教育委員会
期間と日数	男子バスケットボール： 7月21日～2月14日 月4回程度
指導者の主な属性	子どものバスケ教室 コドバス
活動場所	第四中学校
主な移動手段	自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	男子バスケットボール：0円
1人あたりの保険料	団体総合保障制度費用保険 生徒一人あたり：3,375円/年  賠償責任保険 生徒一人あたり：88円/年

#### ●運営体制図（地域スポーツクラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者の役割分担等

##### ●指導者 1名

役割：学校の部活動顧問と練習日程や指導方針の調整を行う。

活動日に生徒の指導を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

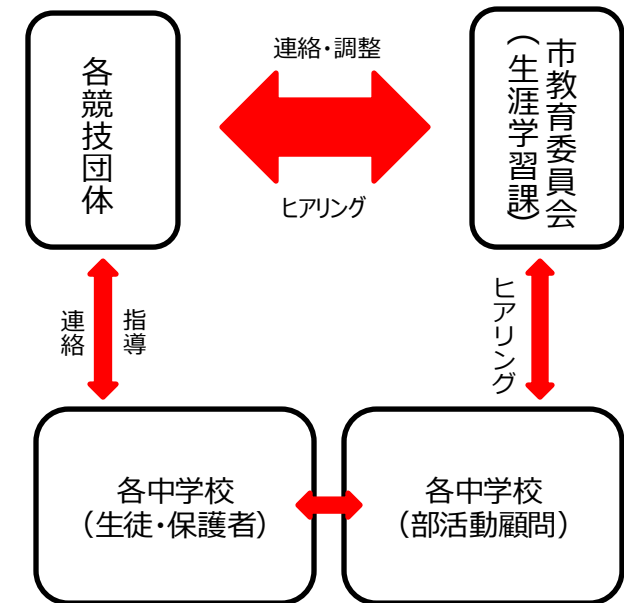
○門真市部活動検討委員会により、関係団体と連携し技術力・指導力のある指導者の発掘・確保・派遣などが迅速に行える持続可能な組織体制を整備する。

##### 取組の成果

○門真市部活動検討委員会を合計7回開催し、**学校の求める指導者像と各競技団体より推薦された指導者のマッチング状況および指導状況について継続的に確認を行い、各競技団体や指導者に対し、指導に関する意見交換を積極的に行うことができた。**

○休日の指導に関し、諸事情のため指導者の派遣日程が組めない場合に、競技団体より追加で指導者を推薦してもらい、輪番制で指導に来てもらうことができた。

○休日の活動ということもあり、間に学校を挟んでの連絡調整を行うことが困難だったため、練習の中止や欠席連絡等がうまく指導者や生徒に伝わらないことがあった。



#### 各競技団体との連携に関する実績

- ・2ヶ月ごとに各クラブを視察し、課題等のヒアリング・助言等を実施
- ・個別連絡会等を実施し、関係団体との連携に努めた

#### 今後の課題と対応方針

○休日の活動に関して、指導者と生徒（保護者）間でとる必要のある諸連絡について、個人的なやり取りを行うのではなく、透明性の高いアプリ等を活用して行っていく必要がある。

○平日と休日の指導者間の効率的・効果的な連携について、Google Chat等を活用するなど、連携方策についてさらに検討する必要がある。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
**イ：指導者の質の保障・量の確保**  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

#### 取組事項

○門真市部活動検討委員会により、平日と休日の指導者間、学校と運営団体・実施主体間において、効率的・効果的な連携方策を検討する。  
 ○指導者の質を保障するため、指導の方法や安全対策等に関する指導者向け研修を実施する。

#### 門真市部活動検討委員会

合計7回の実施

- ・5月29日
- ・6月25日
- ・9月6日
- ・10月24日
- ・11月26日
- ・12月19日
- ・1月14日

○部活動検討委員会において、各地域スポーツクラブ団体より何人指導者が推薦されているか、またそのうちどのような指導者を任用し、活動日にどのような活動内容を実施しているのかを定期的に交流。  
 ○各地域スポーツクラブ活動視察時に生徒・保護者・指導者・(部活動顧問)にヒアリングを行い、課題等があれば適宜解決方法を委員会にて検討。その後関係者に連絡を行い、改善を図る。

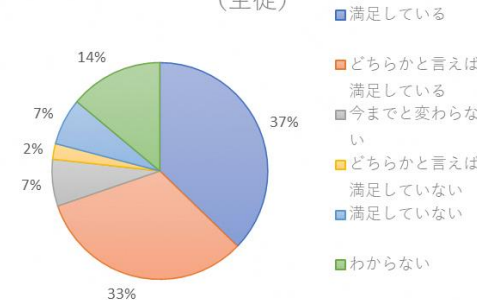
#### 指導者研修の実施

○体力向上及び熱中症等事故予測力向上研修  
 ・熱中症をはじめとする運動時に起こりえる事故について  
 ・事故発生時の応急処置（救命救急措置等）  
 ・参加者からは「手掌冷却など知らなかった対応や対策を学ぶことができ有意義だった」などの意見があった。

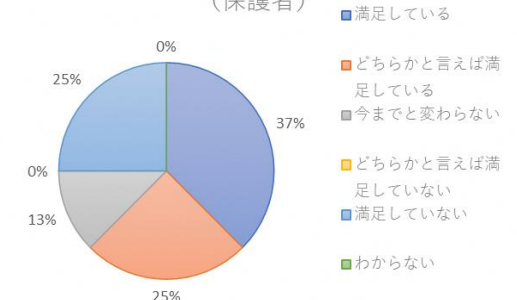
#### 取組の成果

○定期的に開催される部活動検討委員会において、各地域スポーツクラブ活動がどのように実施されているかを共有した結果、中学校長会代表の委員から、平日部活動において感じる生徒の技術力の向上についての評価や、平日と休日の指導に関する連携についての改善点を提言してもらうことができ、効果的・効率的な連携に関して検討することができた。  
 ○参加した中学生及びその保護者を対象としたアンケートの結果、回答者の約70%が「満足している」「どちらかという満足している」といった肯定的評価を示した。

地域スポーツクラブ活動アンケート (生徒)



地域スポーツクラブ活動アンケート (保護者)



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

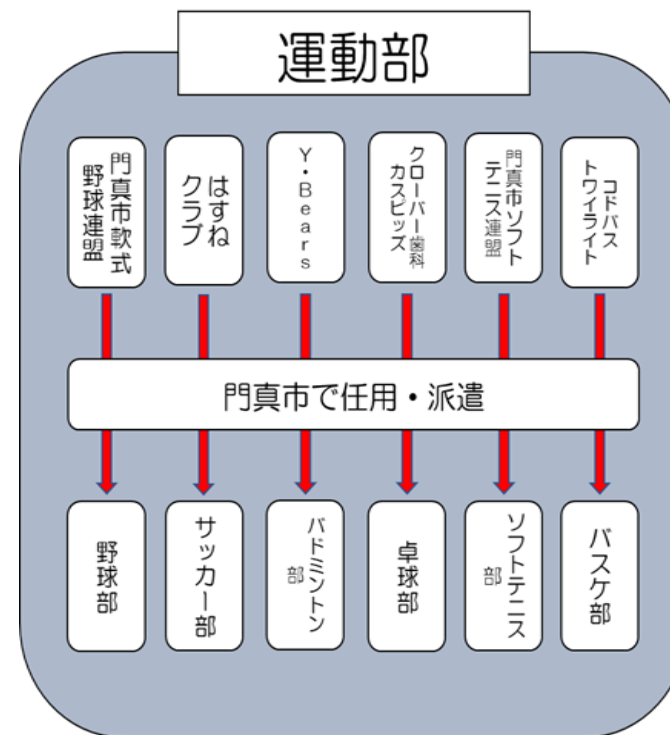
##### 取組事項

○門真市教育委員会及び首長部局が中心となり、門真市軟式野球連盟・Y-Bears・はすねクラブ・クローバー歯科カスピッズ・「子どものバスケ教室ゴドバス」等と指導者の派遣、指導方策などについて連携を図る。

##### 取組の成果

○首長部局から紹介を受けた地域スポーツクラブ活動団体と月1回程度定期的に連絡を取り合い、新たな指導者の推薦や地域移行に関する調整を行った。

○初めから指導の主体を地域スポーツクラブ活動団体が担うのではなく、部活動実施時に地域指導者を派遣して顔合わせ等を行い、また顧問教員と指導に関する生徒の情報を共有してもらうことで、人間関係を十分に構築したうえで、徐々に指導主体を移行していった。その結果、練習方法や指導方針について、それまで実施されてきた部活動の要素をうまく引き継ぎつつ、より専門的な指導を行うことにつながった。



##### 関係団体より推薦された指導者数

- |                                |                                |
|--------------------------------|--------------------------------|
| ・門真市軟式野球連盟<br>7人（内、指導者登録7人）    | ・クローバー歯科カスピッズ<br>2人（内、指導者登録2人） |
| ・はすねクラブ（サッカー）<br>2人（内、指導者登録0人） | ・門真市ソフトテニス連盟<br>1人（内、指導者登録0人）  |
| ・Y-Bears<br>7人（内、指導者登録7人）      | ・ゴドバス・トワイライト<br>2人（内、指導者登録1人）  |

##### 今後の課題と対応方針

○首長部局より紹介された各競技団体より多くの指導者を推薦してもらったが、指導者の高齢化や地域スポーツクラブ活動実施時間に他の都合により参加できないといった課題も多くみられた。またソフトテニスクラブやサッカークラブについては、顧問・指導者間での指導方針の調整が難しく、実施には至らなかった。今後は顧問と指導者の調整の機会を定期的に確保しつつ、平日の実施も見据え、近隣大学や市の人材バンク、大阪府の人材バンク等も活用し、より多くの人材を確保していく必要がある。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 オ：内容の充実

#### 取組事項

○地域スポーツクラブに参加する生徒及び保護者のニーズについてのアンケート調査を行い、持続可能な地域スポーツクラブ活動実施に向けた検証を行う。

#### 地域スポーツクラブ活動に参加する生徒及びその保護者のアンケート

<p>子どもの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● とても楽しいし、勉強になるから満足している</li> <li>● 今は土曜しか来てないから月火木金も来てほしい</li> <li>● 前より技術的なのを学ぶことができている</li> <li>● 友だちと楽しむためにといった本気組ではない生徒もいるため、今後完全に地域移行として学校での部活動が無くなることはしないで欲しい。個人的な意見ではあるが、週一程度のコーチ指導で十分満足している</li> <li>● 別の学校の人とも交流ができ、先生の指導で普段の学校より上手になれる</li> <li>● 練習試合をもっとしたい</li> </ul>														
<p>保護者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 専門のコーチが教えてくれるのでわかりやすい。さらに詳しく教えてもらい、上達したい</li> <li>● 平日も指導してもらいたい</li> <li>● 平日も子どもが通っている中学校でやって欲しい</li> <li>● もう少し部員が増えるともっとみんなの士気が上がってよくなると思う</li> <li>● 昔に比べるとクラブに入らなくてもいい風土が根強いので、クラブに入ると楽しいことが待っていると期待をもっと生徒にアピールする場が必要なのではないかと思う</li> <li>● 顧問、監督など、指導者をしっかりと配置していただきたい</li> </ul>														
<p>検討課題</p>	<p>○平日に取組みを広げていく際に、技術力の向上や勝利のみをめざすクラブチーム化を進めていくのではなく、生徒の居場所としての部活動の性質を保障しながら、より専門的かつ楽しみながら活動に参加できるよう、地域スポーツクラブ活動の在り方等についてさらに検討していく。</p> <div data-bbox="1563 1168 2016 1436"> <p>地域スポーツクラブ活動アンケート</p> <table border="1"> <caption>地域スポーツクラブ活動アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足している</td> <td>37%</td> </tr> <tr> <td>どちらかと言えば満足している</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>今までと変わらない</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>どちらかと言えば満足していない</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>満足していない</td> <td>31%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	満足度	割合	満足している	37%	どちらかと言えば満足している	10%	今までと変わらない	12%	どちらかと言えば満足していない	8%	満足していない	31%	わからない	2%
満足度	割合														
満足している	37%														
どちらかと言えば満足している	10%														
今までと変わらない	12%														
どちらかと言えば満足していない	8%														
満足していない	31%														
わからない	2%														

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

#### 取組事項

○地域スポーツクラブ活動にかかる収支と既存の部活動における活動経費の比較等を行うなど、会費の適切な設定・徴収方法を検討する。

#### 地域スポーツクラブに係る経費

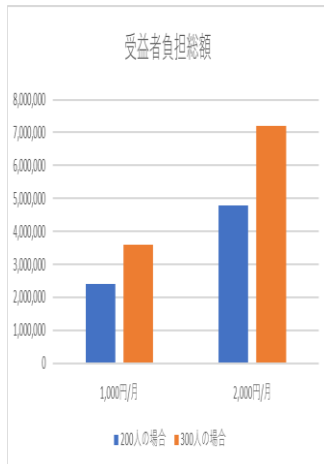
##### ■イニシャルコストの分析

- ・システム整備に係る費用（300千円）
- ・ホームページ構築費用（60千円）
- ・事務用品（36千円）

##### ■ランニングコストの分析

- ・会場借料（公立学校使用想定のため減免）
- ・指導者謝金（3,600千円）
- ・指導者旅費（615千円）
- ・事務局人件費（1,230千円）
- ・消耗品費（840千円）
- ・中体連登録費（259千円）
- ・連絡アプリ使用料（495千円）

#### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算



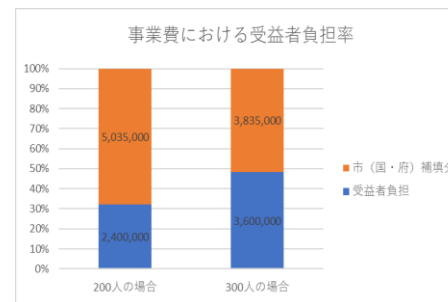
生徒200人として試算

- 1,000円/月の場合 2,400,000円
- 2,000円/月の場合 4,800,000円

生徒300人として試算

- 1,000円/月の場合 3,600,000円
- 2,000円/月の場合 7,200,000円

#### 収支バランス



○休日の部活動を地域移行する場合、イニシャルコスト及びランニングコストの合計における受益者負担の割合は3～5割程度は確保しておきたいと考えた。一方で平日も含む地域移行とする際には、さらにランニングコストが高額になることが見込まれるため、財政部局との調整が必要となる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

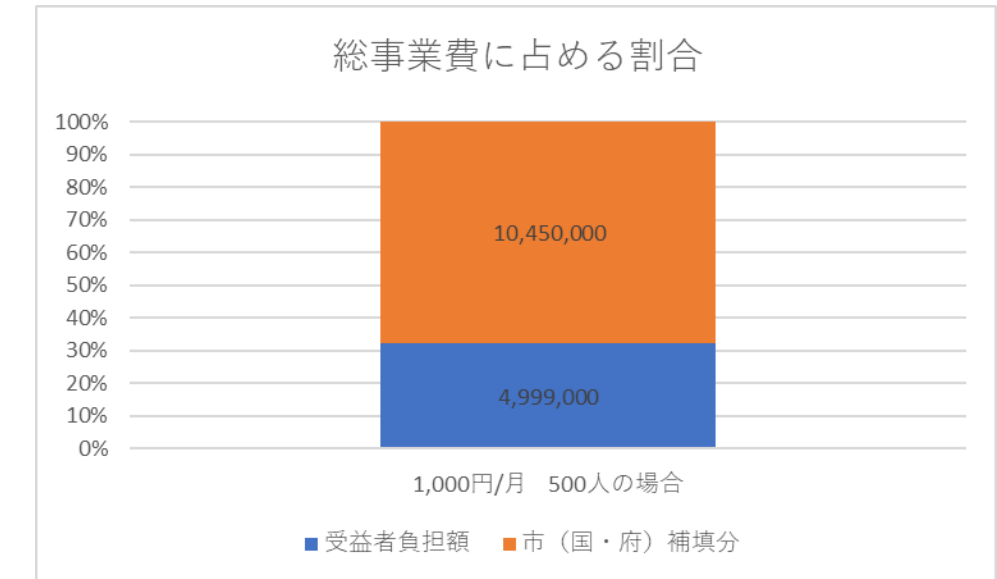
#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

##### 取組の成果

○部活動検討委員会において、参加者が支払う受益者負担額について検討を進めたが、①現在ほぼ無償で行われている活動に新たに保護者に負担を依頼すること、②高額な受益者負担額を求めると、参加する生徒の人数が減少する恐れがあること、③参加者が負担を大きく感じず、専門的な指導を受けることに対して支払うことが妥当と考える金額であること、④市の財政状況の中で公的資金として支出できる金額であること等の条件があげられた。これらを加味した結果、受益者負担によって見込まれる金額は、全体の3割程度の収支バランスとするため、まず試行的に1,000円を基準とすることが確認された。また地域移行に参加する生徒数も各地域スポーツクラブ活動合計で300人以上（今後参加校を増やしていく方針）が望ましいと結論づけた。（全地域スポーツクラブ活動に合計500人参加することを目標）

##### 今後の課題と対応方針

○部活動を休日また可能なクラブは平日も地域スポーツクラブ活動としていく上で、日数が多くなればなるだけ、また地域移行していく部活動が増えれば増えるだけ指導者に支払う報酬や旅費等が増額していくことが見込まれる。これらを賄うために必要な受益者負担の金額を検討委員会で、まず試行的に1,000円と設定したが、今後実際に負担する保護者に理解を



促進していく必要がある。また各地域スポーツクラブ活動を維持運営するために参加者を増やしていくこと、現在設定した金額を可能な限り維持するため、マネジメント団体が受益者負担を除く自己資金を独自に確保していくための方法等も検討し、持続可能な運営を行っていきけるようにしていく必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

○門真市部活動検討委員会により、学校の施設・設備・備品等を使用して、地域スポーツクラブ活動を実施する際の利用ルール（利用範囲や

破損・紛失した場合の対応、施設の開閉手段・方法含む）を検討する。

##### 取組の成果

○学校の施設・設備を使用するために必要な開場キー等を門真市立小中学校において運用している機械警備のキーボックスに格納することで、学校の教職員が休日に出勤することなく、地域スポーツクラブ活動指導員のみで開場や電源を入れることができるようにした。また現在学校部活動と共同で使用している備品等を活動の際に破損・紛失した場合には、消耗品の場合は中学校の部活動費（生徒会費が原資）にて補充、それ以外は地域スポーツクラブ活動団体が破損・紛失状況を市教育委員会及び学校に電話連絡し、後ほど文書（現在様式は自由形式）にて提出すること、地域スポーツクラブ活動実施の際に市教育委員会にて加入した賠償責任保険にて支払うことを確認した。

##### 【賠償責任保険】

申込人	門真市長 宮本 一孝		
対象施設等	名称	門真市部活動地域移行検討事業における休日の活動	
	所在地	門真市立各中学校	
	業務内容	門真市中学校地域クラブ活動	
保険期間	令和6年7月20日午前0時から令和7年3月31日午後4時までの255日間		
保険金額	身体	1名につき	100,000千円
		1事故につき	500,000千円
	財物	1事故につき	500,000千円

##### 今後の課題と対応方針

○今後部活動が完全に地域スポーツクラブ活動に移行されていき、活動場所が市民運動公園等の学校施設でなくなった場合、現在学校と共同

で使用しているボールやバットなどの備品は地域スポーツクラブ団体に準備すること、もしくは学校から借用し持ち出すことになる可能性がある。その際の保管場所や運搬手段等の検討を行う必要がある。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

○今年度部活動地域移行実証事業に取り組む中で、市教育委員会が運営主体として指導者の会計年度任用職員としての任用や報酬の支払い等の事務手続きを行ったが、超過勤務や兼職兼業規定等の課題、事務手続きの煩雑さに関する課題等、さまざまな壁があることが見えてきた。

○部活動顧問や参加者及びその保護者から地域移行の推進を望む声が多く挙げられているが、活動場所の確保や指導者のシフト管理、指導方針の調整等の難しさもあり、多くの部活動で休日の地域移行ができた反面、ソフトテニスクラブとサッカークラブにおいては、実施には至らなかった。これらの調整には大きな労力が必要となることも分かった。

○首長部局の協力もあり、各地域スポーツクラブ活動団体と地域移行に関しての門真市の方針に理解をいただきながら協議を進め、休日の活動主体を徐々に地域スポーツクラブ活動指導員に移行することができ、休日における子どもの居場所づくりにつなげることができた。

#### ●成果の評価

○市教育委員会と首長部局及び校長会代表校長が連携しながら進めてきた部活動検討委員会が、地域移行に関する検討事項について定期的に協議し、地域スポーツクラブ活動の実施に向け地域スポーツクラブ活動団体と積極的に調整を図っていくことで、4つの部活動で休日の部活動地域移行を実施することができた。

○参加する生徒やその保護者、指導者や部活動顧問より地域移行の今年度の取組について概ね肯定的な評価を得ることができた。一方で活動回数を増やしてほしいといった参加者からのニーズも把握でき、今後の方針検討に活かすことができた。

#### ●今後に向けて

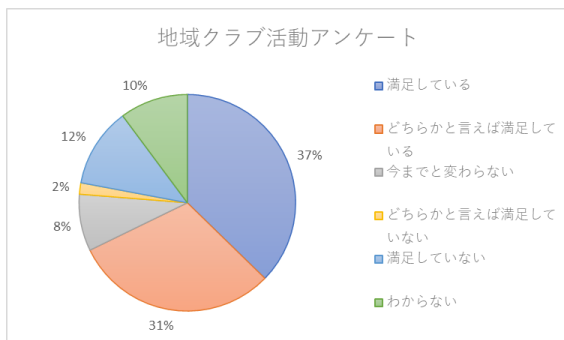
○今後は市教育委員会に代わり、部活動地域移行を主体的に担うマネジメント団体等に事業委託等を行い、持続可能な地域スポーツクラブ活動をめざしていく必要がある。そのためには今年度運営主体を務めた市教育委員会で培ったノウハウを整理し、次年度以降マネジメント団体等と積極的に共有し引継ぎを行っていく。

○今年度は推進校において部活動を休日のみ地域移行化することを目標に取り組んできたが、次年度以降はさらに市内全中学校を対象に取組を拡大していくことや、休日に加え平日も地域スポーツクラブ活動を実施していく方針である。それに向けて、さらに事業全体に係る予算を算出し、収支バランス等を鑑みながら実行していく仕組みづくりに取り組んでいく。

### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果

Q. 現在行っている部活動地域移行の取組に満足していますか？



Q. 部活動地域移行の取組を今後進めるにあたり、ご意見があれば教えてください。

・平日など指導者が来る日を増やしてほしい

・強くなりたい人と楽しくやりたい人などクラス分けをしてほしい

・地域スポーツクラブ活動内で練習試合などをたくさんしてほしい

Q. 満足度に対する理由を教えてください。

・コーチが自分に合った練習を考えてくれるからとても楽しいし、勉強になる

・前より技術的な指導を受け、競技についてより多くのことを学ぶことができている

・別の学校の人とも交流ができ、専門的な指導で普段の練習よりもっとうまくなれる

・試合などでの自分の取った点数が徐々に上がってきている

・これまでにやったことのない多くの練習メニューをさせてもらっている

・地域スポーツクラブ活動実施校は自分が在籍している学校より体育館の使用面積が大きく、思いっきりできる

・地域スポーツクラブの指導者の練習日が少ない

・自分が通っている中学校でやって欲しい

#### ●参加者の声

##### 中学3年生

コーチは優しくとても頼りになります。自分たちのレベルに合った的確な指示をくれるので、とても楽しく活動できています。

##### 中学3年生

専門的な指導が受けられるので、これまで以上に技術が向上しました。指導員の教え方が上手で、自分のプレーに自信がつくし、試合の時も頼もしいです。

##### 指導者

中学生の上達が早く、練習の成果が試合結果にも出てきていて、とてもやりがいを感じます。全員がバランスよく強くなってきていて、協力で来ていると思います。

##### 指導者

指導した技術をすぐに自分のものにしてくれるのでみんな上手になってきました。とても楽しく指導ができています。

## 2.実証内容と成果③

### 参考資料（活動写真）



【男子バスケットボールクラブ】



【野球クラブ】



【卓球クラブ】



【バドミントンクラブ】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

#### 令和4年

「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」（令和4年6月）を受けて、門真市においても部活動地域移行に取り組んでいく方針を決定。  
協力が得られそうな地域スポーツクラブ活動団体及び近隣大学等の調査及び依頼

#### 令和4年

部活動地域移行  
検討開始

受け皿団体や  
指導者の選定

様々な地域スポーツクラブ活動団体と協議を行うものの、地域移行の全体像がはっきりと提示できないことや、指導を実際に受ける指導者の体力的・時間的課題が見え、令和5年度の地域移行実施は尚早であると判断し、引き続き部活動指導員を募集し、各中学校に派遣する方針を決定。

#### 令和5年

首長部局及び中学校長会代表を加えた門真市部活動検討委員会を設置。  
令和6年度以降の地域移行に関する方針を検討。社会教育担当課に地域移行の協力を得られそうな地域スポーツクラブ活動団体を紹介してもらい、協力を依頼。

#### 令和5年

部活動検討委  
員会設置

地域スポーツク  
ラブ活動団体と協  
議開始  
生徒、保護者へ  
のアンケート実施

部活動検討委員会で決定した方針をもとに、地域スポーツクラブ活動団体と協議。第四中学校をモデル校として設定し、第四中学校にある6つの運動部を令和6年度より休日の地域移行を段階的に開始できるよう調整。また生徒・保護者の意識調査も実施し、方針等に反映させる。

#### 令和6年

移行期間を設けるため、部活動実施中に指導員を派遣し、生徒の様子や指導内容等の把握に努め、徐々に指導主体を移行していく方法で地域移行を実施。  
1学期終了時を区切りとして、可能な部活動から休日の完全地域移行を実施。

#### 令和6年

地域スポーツク  
ラブ活動の開始

#### 令和7年

地域スポーツク  
ラブ活動の拡大

#### 令和7年以降

令和6年度は第四中学校の4つの運動部にて休日の地域移行を実施。令和7年度以降は対象校を拡大し、参加可能な市内全中学校からの参加者を募るとともに、休日に加え平日の部活動も段階的に地域移行を実施する方針。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ<sup>o</sup>

